



シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_英コミII**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	月3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590003026	科目番号	05900030
授業科目名	●英語コミュニケーションⅡ(P19)		
編集担当教員	西原 真弓		
授業担当教員名(科目責任者)	西原 真弓		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	西原 真弓		
科目分類	外国語科目、(教職免許科目他)、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	演習科目
教室	[全]403		
対象学生(クラス等)	P19		
担当教員Eメールアドレス	nishihara@kwassui.ac.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスパワー	月曜日昼休み 非常勤講師室にて		
授業のねらい	学生たちの身近にある内容の読み物をベースに、英語で読み、聞き、書き、話す力を伸ばすことをねらいとする。リスニングでは音変化を意識し、自然な英語を聞き取れるようになる。また、表現力を広げ、情報発信能力を向上させる。		
授業方法(学習指導法)	テキストをベースに、英語の4技能をのばす練習を行う。また、速読用のプリントを使い、情報を読み取り、それに関する自分の意見を言えるようにしていく。		
授業到達目標	必要な情報の読解、聴解ができるようになる。表現力を広げ、英語での自己表現能力を向上させる。		
授業内容	16回目 8月9日 定期試験		
	回	内容	
	1	オリエンテーション、音声のポイント	
	2	On-Campus Facilities	
	3	Classroom Expectations	
	4	Roommates Wanted	
	5	Tutoring	
	6	A Blind Date Disaster	
	7	Marriage Announcement	
	8	Chemistry	
	9	Pre-Wedding Parties	
	10	Driving in the US	
	11	Driving in the US	
	12	Pastime	
	13	Relaxing Time	
	14	Words of Encouragement	
15	Words of Encouragement		

	16 試験
キーワード	
教科書・教材・参考書	西原俊明、西原真弓、Amy Mukamuri 『Cultural Encounters』センゲージラーニング
成績評価の方法・基準等	定期試験 80点 授業外課題 10点 授業内の積極的な参加態度 10点
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_英コミII**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	月4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590003037	科目番号	05900030
授業科目名	●英語コミュニケーションⅡ(Lc)		
編集担当教員	西原 俊明		
授業担当教員名(科目責任者)	西原 俊明		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	西原 俊明		
科目分類	外国語科目、(教職免許科目他)、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	演習科目
教室	[全]322		
対象学生(クラス等)	Lc		
担当教員Eメールアドレス	t-nishi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室			
担当教員TEL	095-819-2095		
担当教員オフィスアワー	火曜日12:50~13:30 他は、only by appointment		
授業のねらい	基礎的な英語運用能力を高めることを授業のねらいとする。特に、音声言語によるコミュニケーション能力向上を目指す。また、既習の語彙を用いた表現力の幅をひろげるため、Plain Englishに関する講義を併せて行い、表現力向上を目指す。		
授業方法(学習指導法)	授業の前半では、日本人学習者が抱えるリスニング上の問題点を理解する訓練、速読の訓練、表現力を養うPlain Englishによる表現練習を行う。授業の後半では、前半で行う訓練を発展させたauthenticな教材・題材を用いた訓練を行う。速読の訓練では、U.S.A Today, CNN, BBCなどの記事を用いて速読のスキルの訓練をする。英語音声学・応用言語学・言語学等の知見を取り入れ、ヘアワークやインフォメーションギャップを用いたコミュニケーション活動を中心に行う。		
授業到達目標	授業を通して、種々の速読のスキル、リスニングストラテジー、英語によるコミュニケーション活動に慣れ、基礎的なコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。		
授業内容	回	内容	
	1	4月11日 第1回 オリエンテーション 授業の進め方、授業で取り上げるスキルの概要説明	
	2	4月18日 第2回 英語のリズム(1)、速読(phrase reading)とヘアワーク(1)	
	3	4月25日 第3回 Voice Aerobics、速読(phrase reading)とヘアワーク(1)	
	4	5月2日 第4回 リズムユニットの理解とシャドーイング(1)、速読(phrase reading)	
	5	5月9日 第5回 リズムユニットの理解とシャドーイング(2)、速読(phrase reading)	
	6	5月16日 第6回 弱く発音される音、速読(phrase reading)	
	7	5月23日 第7回 インフォメーションギャップによるヘアワーク(1)、映画による聞き取り(1)	
	8	5月30日 第8回 聞こえなくなる音、映画による聞き取り(2)	
		6月6日	

	9	第9回 インフォメーションギャップによるペアワーク(2), 映画による聞き取り(3)
	10	6月13日 第10回 グループによるディスカッション(1), 映画による聞き取り(4)
	11	6月20日 第11回 ひとつになる音, インフォメーションギャップによるペアワーク(3), 速読(phrase reading)
	12	6月27日 第12回 つながる音, 映画による聞き取り(5), 速読(phrase reading)
	13	7月4日 第13回 なくなる音, 速読(phrase reading), 映画による聞き取り(6)
	14	7月11日 第14回 英語の音のその他の特徴(prosodic featuresを中心として), グループによるディスカッション(2)
	15	7月25日 Reviewおよびまとめテスト
	16	
キーワード	速読、Plain English、リズムユニット、音変化	
教科書・教材・参考書	プリント教材、及び聞き取り訓練テキスト Cultural Encounters (センテージ)	
成績評価の方法・基準等	まとめテスト(30%)、小テスト(60%)、積極的な授業への参加(10%)等を総合的に判断する。 小テストは毎回行う。まとめテストは、2回実施する。	
受講要件(履修条件)	新たに学習する内容は、きちんと復習すること！配布される電子化教材を用いて復習すること。	
本科目の位置づけ	高校までの英語学習の弱点を補うとともに、大学レベルの英語学習に必要なスキルの獲得を目指す。	
学習・教育目標	英語コミュニケーションの基礎的能力を身につけると同時に、日本人学習者の弱点を克服する。	
備考(URL)		
備考(準備学習等)		





シラバス参照

LiveCampus

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_英コミⅡ**」
シラバスの詳細は以下となります。

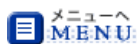


学期	前期	曜日・校時	火1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590003009	科目番号	05900030
授業科目名	●英語コミュニケーションⅡ (Ed)		
編集担当教員	ルウイエル		
授業担当教員名(科目責任者)	ルウイエル		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	ルウイエル		
科目分類	外国語科目、(教職免許科目他)、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	演習科目
教室	[全]401		
対象学生(クラス等)	Ed		
担当教員Eメールアドレス	dannyl@excite.com		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスマワー	授業の前後		
授業のねらい	The goal of this course is to give students extensive practice in everyday conversational English with emphasis on informal styles and pronunciation.		
授業方法(学習指導法)	During class students will spend as much time as possible speaking in English. Students will work in pairs and in groups using English in a variety of situations. Active participation is central to the success of the class.		
授業到達目標	Ideally, after completion of the course students will be better prepared to converse in the international community at a basic level.		
授業内容	The text will be used in every class providing work in listening, speaking, reading and writing.		
	回	内容	
	1	1: Introductions - Interviews - Class Outline - Homework Explanation	
	2	2: Introduce Partner - Welcome Game	
	3	3: Countries - Casual language - Meeting People	
	4	4: Likes - Jobs - Hometowns - More Casual language - Reductions.	
	5	5: My City - Directions Part 1	
	6	6: My Neighborhood - Directions Part 2 - Weather	
	7	7: Music - Adventures - Time	
	8	8: Mid Semester Review Activities	
	9	9: Movies - Famous People - Entertainment	
	10	10: Free time - Sports - Going out	
	11	11: Eating out - Restaurants	
	12	12: Shopping - Fashion	
	13	13: Personality - Describing People - Dating	
	14	14: Holidays - Dates - Festivals	
	15	15: Travel - Vacations - The Future - Exam Information	

	16 16: Final Exam
キーワード	
教科書・教材・参考書	Adventures in English 1, Adventures in English 1 Workbook
成績評価の方法・基準等	Grading will be based on attendance/participation (working with a partner, bringing your book to class) (30%), workbook (30%) and a final test (40%).
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	Workbook to be done at home - not in class.



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学教育_英コミⅡ**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	火2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590003036	科目番号	05900030
授業科目名	●英語コミュニケーションⅡ (Le)		
編集担当教員	ウィリアム コリンズ		
授業担当教員名(科目責任者)	ウィリアム コリンズ		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	ウィリアム コリンズ		
科目分類	外国語科目、(教職免許科目他)、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	演習科目
教室	[全]227		
対象学生(クラス等)	Le		
担当教員Eメールアドレス	william@net.nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	大学教育機能開発センター2階		
担当教員TEL	819-2083		
担当教員オフィスアワー	月:4時以降 火:2時30分以降 水:3時~4時まで 木:10時30分~12時まで		
授業のねらい	このクラスでは英語コミュニケーションIよりDiscussion、単語力、WritingとTOEICに出る文法パターンを重視します。英語コミュニケーションIと同様にスピーキング、リスニング、ライティングを練習しますが特にスピーキングとリスニングを重視します。ねらいはスピーキングの流暢さ(fluency)とリスニング能力を高めること、英語の表現力をあげること、そして単語力を高めることです。		
授業方法(学習指導法)	クラス中での会話練習以外にクラス外でもリスニング、Free-Writingとスピーキングの練習をしてリスニングとスピーキング記録をつけます。リスニング記録は英語のホームページにアクセスし英語ニュースビデオや会話ビデオ、洋楽ビデオなどのlistening materialsを聞いて、問題を解いたり感想を書いたりします。Free-Writingとスピーキング記録は学期中に授業時間内外に自分のFree-Writingをしたり、スピーキング練習を録音します。授業を228号のコンピューター室で行う時にパートナーと会話を録音します。期末に学期中にFree-Writingと録音した全てのスピーキングの練習のサウンドファイルをもとめてスピーキングとFree-Writing記録として提出します。期末試験はスピーキングとListeningのVocabularyが主ですから地道なスピーキング、リスニング練習をいつも心がけて下さい。		
授業到達目標	The aims of this class are (1)To develop discussion & speaking skills (2)To improve students' listening comprehension through online listening content (3) To develop students' ability to use TOEIC grammar patterns communicatively (4)To build vocabulary including spoken expressions, root words & collocations.		
授業内容	第1回 Introduction/Free-Speaking Board-Game Activity (Speaking & Vocabulary) 第2回 Say it With Pictures Cartoon Activity (Speaking Activity); Sentence-Combining & Writing Exercise 第3回 (IN COMPUTER ROOM) Homepage & Speaking/Listening Record/Intro 第4回 ("Messages" Textbook)Topic: Protecting the Environment (Brainstorming/Speaking) + Sentence-Combining & Writing Exercise 第5回 Interview Activity /Vocabulary Quiz/Music Video 第6回 (IN COMPUTER ROOM) Discussion/Interview Day #1 (Listening & Speaking) 第7回 ("Messages" Textbook)Topic:"Music as International Communication" / + TOEIC Brush-Up 第8回 VOA News Video Activity: Listening & Vocabulary Activity; Vocabulary Quiz 第9回 Conversation Activity (Active-Listening) + Music Video + Free Writing 第10回 (IN COMPUTER ROOM) Discussion/Conversation Day #2 (Listening & Speaking)/ Midterm Check 第11回 VOA News Dictation Activity (Listening for Information & Explaining reasons) + Free-Writing 第12回 "Messages" Textbook)Topic:"African Education & Development"(Listening & Survey Activity)(Listening, Speaking & Vocabulary) 第13回 Story-Listening Exercise; Sentence-Combining/Shadowing Exercise; Vocabulary Quiz 第14回 Interview Follow-Up Questions; Relay-Race Activity 第15回 Vocabulary Exam 第16回 期末試験 Speaking Test: Interview, Discussion, Active-Listening (IN COMPUTER ROOM)		
キーワード	Discussion, CALL, Culture Listening, Vocabulary		

教科書・教材・参考書	Messages To Our Future" Ogasawara, S., Collins, W.(教室で購入) マイクつきのヘッドフォン +フラッシュメモリ USB (2GB) (生協で購入)
成績評価の方法・基準等	Speaking/Free-Writing/Listening Record 35% Homework 20% Vocabulary Test & Quizzes 25% Speaking Exam: 20%
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_英コミⅡ**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	火3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590003023	科目番号	05900030
授業科目名	●英語コミュニケーションⅡ(Ef)		
編集担当教員	松村 ラッタナー		
授業担当教員名(科目責任者)	松村 ラッタナー		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	松村 ラッタナー		
科目分類	外国語科目、(教職免許科目他)、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	演習科目
教室	[全]302		
対象学生(クラス等)	Ef		
担当教員Eメールアドレス	mratana46@yahoo.com		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL	095-882-6656		
担当教員オフィスアワー	By appointment.		
授業のねらい	This course aims to improve students' listening and speaking skills for everyday communication in English. Students will learn to use appropriate language functions and structures in different theme-based situations.		
授業方法(学習指導法)	Students are expected to prepare for each lesson, fully participate in communication activities, and complete self-study exercises. Tasks will require students to work in pairs or in groups.		
授業到達目標	By the end of the course, students would be able to: - demonstrate their understanding of dialogues and monologues presenting the target functions within the range of the themes covered by completing required activities; - express themselves by using correct language functions in different situations; - give a short presentation concerning a theme covered in class.		
授業内容	The scope of the course includes essential pronunciation and stress patterns, listening and speaking strategies, and the selected functions below.		
	回	内容	
	1	4月12日 Introduction / Unit 1 Asking for and giving personal information	
	2	4月19日 Unit 2 Describing people	
	3	4月26日 Unit 4 Describing locations	
	4	5月10日 Unit 5 Giving directions	
	5	5月17日 Viewing video	
	6	5月24日 Unit 6 Telling stories	
	7	6月7日 Unit 7 Interviewing for a job	
	8	6月14日 Review and consolidation / Midterm	
	9	6月21日 Unit 8 Inviting and suggesting	
	10	6月28日 Unit 9 Talking about plans	
	11	7月5日 Viewing video	
	12	7月12日 Unit 10 Shopping	

	13	7月19日 Unit 11 Giving instructions
	14	7月26日 Review and consolidation
	15	8月2日 Student presentation
	16	第16回 8月9日 定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書	English Firsthand 1, New English Firsthand Series by Marc Helgesen, Steven Brown, and John Wiltshier	
成績評価の方法・基準等	Participation 10% Homework and self-study 20% Midterm exam 20% Student presentation 30% Final exam 20%	
受講要件(履修条件)		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)		



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_英コミⅡ**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	火3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590003027	科目番号	05900030
授業科目名	●英語コミュニケーションⅡ (Fc)		
編集担当教員	ローン 悦子		
授業担当教員名(科目責任者)	ローン 悦子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	ローン 悦子		
科目分類	外国語科目、(教職免許科目他)、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	演習科目
教室	[全]303		
対象学生(クラス等)	Fc		
担当教員Eメールアドレス	etsukolawn@hotmail.com		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	授業の前後、またはメールにて質問を受け付けます。		
授業のねらい	本授業では、実用的な英会話の表現を習得します。特にリスニングとスピーキングに力を入れながら基礎的な英語運用能力の向上を目指します。		
授業方法(学習指導法)	授業では、基礎的なコミュニケーションに役に立つようなフレーズを指定されたテキストを使い学習していきます。また、新しい語彙、表現力を増やすためにauthenticな教材、洋画を使用し(DVD視聴)、Readers' theaterなどの活動を通してペアワーク、グループワークをより多く取り入れて授業を進めていきます。英語圏の文化、習慣の違いにも触れていきます。		
授業到達目標	授業を通して、英語コミュニケーション活動に慣れ親しみ、基礎的なコミュニケーション能力を身につけることを目標とします。英語話者と話す機会がある場合に、状況に合った丁寧、あるいはカジュアルな表現を使い分け、躊躇することなく会話できるようになることを目指します。また洋画を英語で(音声、字幕共)より理解できるようにすることを目標とします。		
授業内容	授業では、コミュニケーションに役に立つような基礎的なフレーズを指定されたテキストを使い学習していきます(テキストは、全12課からなっていますが、授業の進み具合で調節しながら進めていきます)。特に実用的なコミュニケーション能力を向上させるために、授業を通して、種々のリーディングスキル、リスニングストラテジーを学習しながら、受講生には回答の機会を出来る限り設け、ペアワーク、グループワークを通して学んだ表現の定着を図ります。テキスト中の基礎的な構文は、自然に口からついて出てくる程度にするために、付属のCDを使用し予習、復習をして授業に臨んで下さい(特にスピーキングとリスニングカアップのために、各自音読、リピーティング、オーバーラッピング、シャドーイング、ディクテーション等の練習に力を入れて下さい)。DVDの視聴、補助教材も適宜使用していきます。		
	※授業の進み具合で、上記の進度、内容設定を変更する場合があります。		
	回	内容	
	1	第1回 4月12日 オリエンテーション 授業の進め方 Self-introduction	
	2	第2回 4月16日 Getting to know each other スキルの概要説明 DVD視聴(2回目以降も継続的に視聴予定)	
	3	第3回 4月19日 Talking about Pastime Readers' theater の練習方法の説明	
	4	第4回 4月26日 Review	
	5	第5回 5月10日 Invitation and Appointments	
	6	第6回 5月17日 Invitation and Appointments	
7	第7回 5月24日 Review		
8	第8回 6月7日 Comparative Cultures		

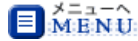
	9	第9回 6月14日 Comparative Cultures
	10	第10回 6月21日 Intensions
	11	第11回 6月28日 Permission and Suggestions
	12	第12回 7月5日 Group work for the presentation
	13	第13回 7月12日 Presentation
	14	第14回 7月19日 Telephone Conversation
	15	第15回 7月26日 Review
	16	第16回 8月2日 定期試験
キーワード	フレーズリーディング、シャドーイング、リピーティング、ディクテーション	
教科書・教材・参考書	教科書としてTadashi Shinozawa Gregory A. King 著 『New Activator』 金星堂 を使用します。第1回目の授業までに、必ず生協の販売コーナーで各自購入して下さい。	
成績評価の方法・基準等	定期試験(50%)、授業中の発表、小テスト、課題、プレゼンテーション(40%)、積極的な授業への参加(10%)を総合的に判断します。	
受講要件(履修条件)	教科書、英語辞典(電子辞書も可)を、毎回持参、また毎回授業に出席すること時間厳守。 学習した内容は、きちんと復習すること！。	
本科目の位置づけ	英語コミュニケーションの基礎能力を身につけるストラテジーを習得し、日本人学習者の苦手な音声言語コミュニケーション能力の向上を目指す。	
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)	各自テキスト付属のCDを使用し予習、復習をして授業に臨んで下さい。	





長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバス一覧 > シラバス参照

[Login User](#)

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1800秒です。

印刷



シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_英コミⅡ**」
シラバスの詳細は以下となります。

[戻る](#)

学期	前期	曜日・校時	火4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590003019	科目番号	05900030
授業科目名	●英語コミュニケーションⅡ(Eb)		
編集担当教員	大坪 有実		
授業担当教員名(科目責任者)	大坪 有実		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	大坪 有実		
科目分類	外国語科目、(教職免許科目他)、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	演習科目
教室	[全]401		
対象学生(クラス等)	Eb		
担当教員Eメールアドレス	r_otsubo@hotmail.co.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	火曜日 12:00~12:50		
授業のねらい	このクラスは、主にリスニングとリーディングに重点を置き、実践的なコミュニケーション力をつけることをねらいとする。また、日米の大学生生活、文化の違いなどについて、理解を深めることをねらいとする。		
授業方法(学習指導法)	主として講義によるが、グループ・ワークを一部に組み入れる。		
授業到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・英語の様々な音(つながる音、破裂音、脱落等)の確認をし、英文を聞いて、何が述べられているのか、理解できる。 ・各課のトピックについて、自分の意見が述べられる。 		
授業内容	全体は大きく、前半と後半からなる。 授業の前半はリスニングを中心した授業で、音の聞き分けの練習をする。 授業の後半はリーディングを中心とした授業で、既習文法を再確認しながら精読する。		
	回	内容	
	1	4月12日 教科書販売・Introduction	
	2	4月16日(土) On-Campus Facilities	
	3	4月19日 Classroom Expectations	
	4	4月26日 Roommates Wanted	
	5	5月10日 Tutoring	
	6	5月17日 A Blind Date Disaster	
	7	5月24日 Marriage Announcement	
	8	6月7日 Chemistry	
	9	6月14日 Pre-Wedding Parties	
	10	6月21日 Driving in the United States (1)	
	11	6月28日 Driving in the United States (2)	
	12	7月5日 Pastime	
	13	7月12日 Relazing Time	
	14	7月19日 Words of Encouragement	
	15	7月26日 Extra Reading	

	16 8月2日 定期試験
キーワード	
教科書・教材・参考書	Cultural Encounters センゲージラーニング株式会社 ¥1,995 第1回目の授業時、教室にてテキストを販売します。
成績評価の方法・基準等	"定期試験60% 発表を含む、授業に対する積極的な取組状況40%"
受講要件(履修条件)	辞書を持参すること。 予習をして授業に参加すること。 教科書を購入すること。
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

LiveCampus

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_英コミⅡ**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	火4																				
開講期間																							
必修選択	必	単位数	1.0																				
時間割コード	20110590003028	科目番号	05900030																				
授業科目名	●英語コミュニケーションⅡ(Eh)																						
編集担当教員	ローン 悦子																						
授業担当教員名(科目責任者)	ローン 悦子																						
授業担当教員名(オムニバス科目等)	ローン 悦子																						
科目分類	外国語科目、(教職免許科目他)、A科目 外国語 既習																						
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	演習科目																				
教室	[全]303																						
対象学生(クラス等)	Eh																						
担当教員Eメールアドレス	etsukolawn@hotmail.com																						
担当教員研究室	非常勤講師控室																						
担当教員TEL																							
担当教員オフィスアワー	授業の前後、またはメールにて質問を受け付けます。																						
授業のねらい	本授業では、実用的な英会話の表現を習得します。特にリスニングとスピーキングに力を入れながら基礎的な英語運用能力の向上を目指します。																						
授業方法(学習指導法)	授業では、基礎的なコミュニケーションに役に立つようなフレーズを指定されたテキストを使い学習していきます。また、新しい語彙、表現力を増やすためにauthenticな教材、洋画を使用し(DVD視聴)、Readers' theaterなどの活動を通してペアワーク、グループワークをより多く取り入れて授業を進めていきます。英語圏の文化、習慣の違いにも触れていきます。																						
授業到達目標	授業を通して、英語コミュニケーション活動に慣れ親しみ、基礎的なコミュニケーション能力を身につけることを目標とします。英語話者と話す機会がある場合に、状況に合った丁寧、あるいはカジュアルな表現を使い分け、躊躇することなく会話できるようになることを目指します。また洋画を英語で(音声、字幕共)より理解できるようにすることを目標とします。																						
授業内容	<p>授業では、コミュニケーションに役に立つような基礎的なフレーズを指定されたテキストを使い学習していきます(全12課からなっていますが、授業の進み具合で調節しながら進めていきます)。特に実用的なコミュニケーション能力を向上させるために、授業を通して、種々のリーディングスキル、リスニングストラテジーを学習しながら、受講生には回答の機会を出来る限り設け、ペアワーク、グループワークを通して学んだ表現の定着を図ります。テキスト中の基礎的な構文は、自然に口からついて出てくる程度にするために、付属のCDを使用し予習、復習をして授業に臨んで下さい(特にスピーキングとリスニング力アップのために、各自音読、リピーティング、オーバーラッピング、シャドーイング、ディクテーション等の練習に力を入れて下さい)。DVDの視聴、補助教材も適宜使用していきます。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>第1回 4月12日 オリエンテーション 授業の進め方 Self-introduction</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>第2回 4月16日 Getting to know each other スキルの概要説明 DVD視聴(2回目以降も継続的に視聴予定)</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>第3回 4月19日 Talking about Pastime Readers' theater の練習方法の説明</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>第4回 4月26日 Review</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>第5回 5月10日 Invitation and Appointments</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>第6回 5月17日 Invitation and Appointments</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>第7回 5月24日 Review</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>第8回 6月7日 Comparative Cultures</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>第9回 6月14日 Comparative Cultures</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	第1回 4月12日 オリエンテーション 授業の進め方 Self-introduction	2	第2回 4月16日 Getting to know each other スキルの概要説明 DVD視聴(2回目以降も継続的に視聴予定)	3	第3回 4月19日 Talking about Pastime Readers' theater の練習方法の説明	4	第4回 4月26日 Review	5	第5回 5月10日 Invitation and Appointments	6	第6回 5月17日 Invitation and Appointments	7	第7回 5月24日 Review	8	第8回 6月7日 Comparative Cultures	9	第9回 6月14日 Comparative Cultures
回	内容																						
1	第1回 4月12日 オリエンテーション 授業の進め方 Self-introduction																						
2	第2回 4月16日 Getting to know each other スキルの概要説明 DVD視聴(2回目以降も継続的に視聴予定)																						
3	第3回 4月19日 Talking about Pastime Readers' theater の練習方法の説明																						
4	第4回 4月26日 Review																						
5	第5回 5月10日 Invitation and Appointments																						
6	第6回 5月17日 Invitation and Appointments																						
7	第7回 5月24日 Review																						
8	第8回 6月7日 Comparative Cultures																						
9	第9回 6月14日 Comparative Cultures																						

	10	第10回 6月21日 Intensions
	11	第11回 6月28日 Permission and Suggestions
	12	第12回 7月5日 Group work for the presentation
	13	第13回 7月12日 Presentation
	14	第14回 7月19日 Telephone Conversation
	15	第15回 7月26日 Review
	16	第16回 8月2日 定期試験
キーワード	フレーズリーディング、シャドーイング、リピーティング、ディクテーション	
教科書・教材・参考書	教科書としてTadashi Shinozawa Gregory A. King 著 『New Activator』 金星堂 を使用します。第1回目の授業までに、必ず生協の販売コーナーで各自購入して下さい。	
成績評価の方法・基準等	定期試験(50%)、授業中の発表、小テスト、課題、プレゼンテーション(40%)、積極的な授業への参加(10%)を総合的に判断します。	
受講要件(履修条件)	教科書、英語辞典(電子辞書も可)を、毎回持参、また毎回授業に出席すること(時間厳守)。 学習した内容は、きちんと復習すること！。	
本科目の位置づけ	英語コミュニケーションの基礎能力を身につけるストラテジーを習得し、日本人学習者の苦手な音声言語コミュニケーション能力の向上を目指す。	
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)	各自テキスト付属のCDを使用し予習、復習をして授業に臨んで下さい。	





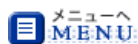
タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_英コミⅡ**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590003022	科目番号	05900030
授業科目名	●英語コミュニケーションⅡ(Lf)		
編集担当教員	稲富 百合子		
授業担当教員名(科目責任者)	稲富 百合子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	稲富 百合子		
科目分類	外国語科目、(教職免許科目他)、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	演習科目
教室	[全]302		
対象学生(クラス等)	Lf		
担当教員Eメールアドレス	inadomi@fukuoka-u.ac.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	授業の前後、また、メールにて受け付けます。		
授業のねらい	この授業では、「聞く」「話す」の能力養成を目指します。会話の概要や要点を理解できるよう、基礎的な聞き取りができるようになること、また、会話を中心としたコミュニケーション能力を身につけていきます。		
授業方法(学習指導法)	各自、予習、復習をして授業に臨んでください。授業では、ナチュラルスピードで話される会話を聴き、まず全体の内容を把握し、次に重要語句に注意しながら細部を理解していく練習を行います。また、英語のイントネーションや音声変化を学び、音読練習やペアになって会話の練習を行います。テキストは、語彙力の強化も重視した内容となっていますので、ユニット毎に語彙復習テスト及びリスニングテストを行います。		
授業到達目標	自然な速度で話される英語の音声変化の特徴を学び、話されている内容の理解力を向上させる。		
授業内容	<p>予習、復習を前提に行います。1回の授業につき1ユニットを進めることを進度の目安にしてください。ニューヨークを舞台にしたDVD教材(二人の日本人学生がニューヨークの大学に入学し、アルバイトをしながら実生活を目指すストーリー)を用います。テキストの構成は以下の通りです。</p> <p>(1) Overview: その課の概要の説明(リーディング形式)</p> <p>(2) Dialog: 会話表現(DVDを使用)</p> <p>(3) Drills: ダイアログの内容理解(True / False形式)、反復練習、語彙復習、文法問題、ディクテーション</p> <p>(4) Information: 海外旅行で必ず目にする書類、看板、広告、パンフレットなど</p>		
	回	内容	
	1	第1回 4月6日 教科書販売、オリエンテーション(授業の進め方について説明) 英語の音声変化について(プリント教材) テキストUnit 1: Airport	
	2	第2回 4月13日 Unit 1のつづき、Unit 2: School	
	3	第3回 4月20日 Unit 3: Housing	
	4	第4回 4月27日 Unit 4: Repairs	
	5	第5回 5月11日 Unit 5: Street Directions	
	6	第6回 5月18日 Unit 6: Shopping	
	7	第7回 5月25日 Unit 7: Finding Work	
	8	第8回 6月1日 Unit 8: Dining	
9	第9回 6月8日 Unit 9: Crime and Safety		

	10	第10回 6月15日 Unit 10: NYC Metro Travel
	11	第11回 6月22日 Unit 11: English Presentations
	12	第12回 6月29日 Unit 12: Banking
	13	第13回 7月 6日 Unit 13: Medical Treatment
	14	第14回 7月13日 Unit 14: Leisure
	15	第15回 7月20日 Unit 15: Professional Development
	16	第16回 7月27日 定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書	CitiPals in New York –New Edition of Survival English – (朝日出版社) 2,200円(税別) ISBN: 978-4-255-15492-3 * 授業には必ず辞書を持参して下さい。	
成績評価の方法・基準等	定期試験60%、授業への積極的な取り組み状況(発表を含む)20%、小テスト20%とし、総合的に評価します。	
受講要件(履修条件)		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)	第1回目の授業では、教室で教科書販売を行います。	





シラバス参照

LiveCampus

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_英コミⅡ**」
シラバスの詳細は以下となります。

学期	前期	曜日・校時	水2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590003032	科目番号	05900030
授業科目名	●英語コミュニケーションⅡ(Lb)		
編集担当教員	メリッサ マカララド		
授業担当教員名(科目責任者)	メリッサ マカララド		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	メリッサ マカララド		
科目分類	外国語科目、(教職免許科目他)、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	演習科目
教室	[全]203		
対象学生(クラス等)	Lb		
担当教員Eメールアドレス	Melissa Ramos Macalalad/ cgsatuito@aqr.bbiq.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL	095-883-4228		
担当教員オフィスアワー	By appointment		
授業のねらい	This course is designed to improve students' proficiency in listening and speaking English. The textbook of this course was written specifically for Japanese learners of English, and provides a comprehensive list of essential sentence patterns necessary for communicating in common situations, provided with Japanese translations of the sample sentences, words and phrases, as well as, additional explanations written in Japanese.		
授業方法(学習指導法)	This course will focus mainly on listening and oral tasks involving repeating practice of the sample sentences given in the textbook. The students will also practice conversation pieces that use the sentence patterns being taken up, and will be guided in using correct pronunciation, intonation, rhythm and accent. Useful words and phrases will also be introduced on each class meeting.		
授業到達目標	By the end of this course, students would be able to: <input type="checkbox"/> express themselves by using correct and appropriate language functions in different situations; <input type="checkbox"/> comprehend what is being asked or expressed in a conversation; <input type="checkbox"/> understand the meaning of words and phrases commonly used in typical situations.		
授業内容	This course takes up 9 units of the textbook and its supplementary CD, and handouts to be distributed in class.		
	回	内容	
	1	Guidance of course requirements; self-introduction; overview of Unit 1	
	2	Unit 1- Sentence patterns for questions, instructions, requests, verifications and explanations	
	3	Unit 2- Sentence patterns using We/ You/They as subjects	
	4	Unit 3- Interrogatives: functions and situations: Part I	
	5	Unit 3- Interrogatives: functions and situations: Part II	
	6	Unit 3- Interrogatives: functions and situations: Part III	
	7	Unit 4- Sentence patterns with noun clauses: Part I	
	8	Unit 4- Sentence patterns with noun clauses: Part II	
	9	Unit 5- Sentence patterns using modals Part I;	
	10	Unit 5- Sentence patterns using modals Part II; simple future and volitional future forms	
	11	Unit 6- Sentence patterns using the Present Perfect	
	12	Unit 6- Sentence patterns using the Present and Past Continuous, and the Passive forms	

	13	Unit 7- Sentence patterns with subject + verb + person + to do
	14	Unit 9- Sentence patterns using causative and sensory verbs
	15	Unit 10- Sentence patterns showing comparisons and degrees/levels; review of patterns taken up
	16	第16回 is Final Exam
キーワード	sentence patterns, situations, verb tenses, 続きは備考へ	
教科書・教材・参考書	コミュニケーションのためのパターン英文600; Handouts to be distributed in class	
成績評価の方法・基準等	Class participation and attendance: 40% Final Exam: 60%	
受講要件(履修条件)	sentence patterns, situations, verb tenses, pronunciation, intonation, rhythm, accent	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)	キーワードの続き verb tenses, pronunciation, intonation, rhythm, accent	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

LiveCampus

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_英コミⅡ**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590003015	科目番号	05900030
授業科目名	●英語コミュニケーションⅡ(Kb)		
編集担当教員	マーク ティーダマン		
授業担当教員名(科目責任者)	マーク ティーダマン		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	マーク ティーダマン		
科目分類	外国語科目、(教職免許科目他)、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	演習科目
教室	[全]303		
対象学生(クラス等)	Kb		
担当教員Eメールアドレス			
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL	095-819-2078(全学教育事務室)		
担当教員オフィスパワー	授業の前後		
授業のねらい	The class will focus on improving students' basic English skills in listening, speaking and reading through listening experiences and production exercises in class and exercises and readings in English to be done as homework.		
授業方法(学習指導法)	In class, we will focus on listening and speaking skills by going through the Breakthrough 2 course book using audio and extensive pair-work exercises. Work on English grammar and structure with a text preparing students for the Reading Section of the TOEIC Test will be assigned as home work. Homework assignments will be regularly checked and four quizzes over the material will be given.		
授業到達目標	By the end of the course, students will be expected to have a firmer command of basic grammatical structures, be more adept at understanding TOEIC Test-type reading materials, and be more comfortable listening to, responding to, and producing everyday spoken English.		
授業内容	Essential Reading for the TOEIC Test, Kinseido Breakthrough 2, Macmillan		
	回	内容	
	1	第 1回 Introduction to the class, Mixing activity	
	2	第 2回 TOEIC Unit 1; Breakthrough Unit 1	
	3	第 3回 TOEIC Unit 2; Breakthrough Unit 1	
	4	第 4回 TOEIC Unit 3,4; Breakthrough Unit 2	
	5	第 5回 TOEIC Unit 5, Quiz TOEIC Units 1-5; Breakthrough Unit 3	
	6	第 6回 TOEIC Unit 6; Breakthrough Unit 4	
	7	第 7回 TOEIC Unit 7,8; Breakthrough Unit 5	
	8	第 8回 TOEIC Unit 9,10; Breakthrough Unit 6	
	9	第 9回 TOEIC Unit 11, Quiz TOEIC Units 6-10; Breakthrough Unit 7	
	10	第10回 TOEIC Unit 12,13; Breakthrough Unit 8	
	11	第11回 TOEIC Unit 14,15; Breakthrough Unit 9	
	12	第12回 TOEIC Unit 16, Quiz TOEIC Units 11-15; Breakthrough Unit 10	
13	第13回 TOEIC Unit 17,18; Breakthrough Unit 11		

	14	第14回 TOEIC Unit 19,20; Breakthrough Unit 12
	15	第15回 TOEIC Quiz Units 16-20; Review of Breakthrough for the test
	16	第16回 Final Test
キーワード		
教科書・教材・参考書	Essential Reading for the TOEIC Test, Kinseido Breakthrough 2, Macmillan	
成績評価の方法・基準等	Homework 10%, TOEIC quizzes 30%, Final Test 60%	
受講要件(履修条件)		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)		



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

タイトル「2011年度シラバス」、開講所属「全学教育-全学_英コミⅡ」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水4																				
開講期間																							
必修選択	必	単位数	1.0																				
時間割コード	20110590003004	科目番号	05900030																				
授業科目名	●英語コミュニケーションⅡ(Td)																						
編集担当教員	吉村 宗司																						
授業担当教員名(科目責任者)	吉村 宗司																						
授業担当教員名(オムニバス科目等)	吉村 宗司																						
科目分類	外国語科目、(教職免許科目他)、A科目 外国語 既習																						
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	演習科目																				
教室	[全]322																						
対象学生(クラス等)	Td																						
担当教員Eメールアドレス	yoshimura@nagasaki-joshi.ac.jp																						
担当教員研究室	非常勤講師控室																						
担当教員TEL																							
担当教員オフィスアワー	授業の前後(16:00~16:10/322教室)																						
授業のねらい	授業のねらい: 対話や会話といった、コミュニケーションを主要目的とする言葉のやりとりについては、なによりも相手を理解するための聴解力を基盤に持つことが必要である。発話力というのも聴解力あつての発話力であつて、聴解力さえ身につけば、発話力はそれに依りて自然にその進歩が期待できるものである。本講座では、これまで聞くことにあまり時間を割いてこなかった学校教育の弊害を可能な限り克服する意味で、サバイバル英語(米語)-必要最低限の英語(米語)-を徹底的に学びながら、聴解力と発話力の増強を図ることを第一義的な目的に据えるものである。																						
授業方法(学習指導法)	まずは、聴解力の増強に極めて効果的な英音・米音の音声の特徴や法則性(音法)について解説し、聴解力と発話力のバランスをとりながら、LL機器をフルに駆使して英語(米語)の運用能力を習得するトレーニングを行なっていく。尚、マテリアルとしては、日常会話表現や旅行英会話、洋楽、時事(ニュース)等、実用性の高いものを取り上げていく予定である。																						
授業到達目標	本講座の受講によって、これまで英米語のリスニングに際し、疑問であつたことが解消されるはずである。また、受講者のトレーニング次第では、外国人との英会話をはじめ、洋楽、映画、英語ニュースの視聴時に、上達の喜びを体感できるものと思われる。『英語が止まって聞こえる』ようになることを究極の目標に掲げる。																						
授業内容	<p>授業内容(概要)</p> <p>前半は、聴解力を増強させるうえで必須となる音声に関する知識の基礎固めを行なう。具体的には、基礎知識、及びリスニングに極めて有効な英音・米音の音声の特徴と法則性(音法)の習得である。中盤から後半は、リスニングとスピーキングのバランスをとりながら、発音矯正と並行して発話力の増強を目指す。限られた時間で実用英米語運用能力を促進させるトレーニングを行なっていくとともに、必要に応じて比較文化的視座から文化に関する実利的なトピックも織り交ぜつつ、言語と文化を包括して共時的に学ぶことを視野に入れた解説も展開する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>オリエンテーション(授業方針についての説明、教材の配付、アンケートほか)</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>『なぜ日本人は英語の聞き取りが苦手なのか?』—分析結果の報告と対策法について</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>プレテスト、つながる音とカタカナ英語、近似カナ表記、母音、半母音/j/, /w/, /r/, /l/と/l/の発音</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>子音、調音形式、調音点、有声音と無声音、閉鎖音についての解説</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>子音の分類表を基にした音素に関する基礎知識の確認、単語レベルの発音クリニック</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>『音の連結』を聞き取るパターン(リエゾンの原則)、/t/, /d/, /g/の脱落、/t/, /d/のラ音化</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>連結しない場合の/l/, /h/の脱落、半母音/j/, /n/+/l/と/n/+/d/による音変化</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>『閉鎖音の連結による脱落』、『同じ子音の連結による脱落』を聞き取るパターン</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>『同化』を聞き取るパターン(1)(半母音/j/に絡む音変化①)</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	オリエンテーション(授業方針についての説明、教材の配付、アンケートほか)	2	『なぜ日本人は英語の聞き取りが苦手なのか?』—分析結果の報告と対策法について	3	プレテスト、つながる音とカタカナ英語、近似カナ表記、母音、半母音/j/, /w/, /r/, /l/と/l/の発音	4	子音、調音形式、調音点、有声音と無声音、閉鎖音についての解説	5	子音の分類表を基にした音素に関する基礎知識の確認、単語レベルの発音クリニック	6	『音の連結』を聞き取るパターン(リエゾンの原則)、/t/, /d/, /g/の脱落、/t/, /d/のラ音化	7	連結しない場合の/l/, /h/の脱落、半母音/j/, /n/+/l/と/n/+/d/による音変化	8	『閉鎖音の連結による脱落』、『同じ子音の連結による脱落』を聞き取るパターン	9	『同化』を聞き取るパターン(1)(半母音/j/に絡む音変化①)
回	内容																						
1	オリエンテーション(授業方針についての説明、教材の配付、アンケートほか)																						
2	『なぜ日本人は英語の聞き取りが苦手なのか?』—分析結果の報告と対策法について																						
3	プレテスト、つながる音とカタカナ英語、近似カナ表記、母音、半母音/j/, /w/, /r/, /l/と/l/の発音																						
4	子音、調音形式、調音点、有声音と無声音、閉鎖音についての解説																						
5	子音の分類表を基にした音素に関する基礎知識の確認、単語レベルの発音クリニック																						
6	『音の連結』を聞き取るパターン(リエゾンの原則)、/t/, /d/, /g/の脱落、/t/, /d/のラ音化																						
7	連結しない場合の/l/, /h/の脱落、半母音/j/, /n/+/l/と/n/+/d/による音変化																						
8	『閉鎖音の連結による脱落』、『同じ子音の連結による脱落』を聞き取るパターン																						
9	『同化』を聞き取るパターン(1)(半母音/j/に絡む音変化①)																						

	10 『同化』を聞き取るパターン(2)(半母音/j/に絡む音変化②)、『調音点が近い子音の連続』
	11 『同化』を聞き取るパターン(3)(/h/の後続音への影響)、On an Airplane(1)
	12 On an Airplane(2)／VTR視聴／ニュースを聞き取る
	13 At an Airport(1)／洋楽を聞き取る
	14 At an Airport(2)／Taking a Taxi(1)／洋楽を聞き取る
	15 Taking a Taxi(2)／洋楽を聞き取る／まとめ
	16 定期試験 ※毎回、詳細に解説を施す予定であるため、上記の進度設定を変更する場合もある。尚、基本的な音法を習得した後に旅行英会話等への応用を試みるが、解説やトレーニングに加え、比較文化的視座から実利的なトピックも交えつつ講義を進めていく。
キーワード	音法
教科書・教材・参考書	(1) 英語リスニング-聞き取るための入門講座(ハンドアウト教材) (2) American(ハンドアウト教材) (3) アメリカの生活と文化(VTR教材)
成績評価の方法・基準等	定期試験(80%)、授業への積極的参加意欲(受講態度やトレーニングの状況20%)等の総合判定によって評価を行なう。
受講要件(履修条件)	配布された教材に対する予習復習は必須である。特に、毎時学んだ内容に関し、毎日のトレーニングを継続させることによって、実用英米語運用能力の促進が可能となる。したがって、復習に力点を置いた学習姿勢が望まれる。
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	





シラバス参照

タイトル「2011年度シラバス」、開講所属「全学教育-全学_英コミⅡ」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水5
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590003005	科目番号	05900030
授業科目名	●英語コミュニケーションⅡ(Tg)		
編集担当教員	吉村 宗司		
授業担当教員名(科目責任者)	吉村 宗司		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	吉村 宗司		
科目分類	外国語科目、(教職免許科目他)、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	演習科目
教室	[全]322		
対象学生(クラス等)	Tg		
担当教員Eメールアドレス	yoshimura@nagasaki-joshi.ac.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	授業の前後(16:00~16:10/322教室)		
授業のねらい	授業のねらい: 対話や会話といった、コミュニケーションを主要目的とする言葉のやりとりについては、なによりも相手を理解するための聴解力を基盤に持つことが必要である。発話力というのも聴解力あつての発話力であつて、聴解力さえ身につけば、発話力はそれに依つて自然にその進歩が期待できるものである。本講座では、これまで聞くことにあまり時間を割いてこなかった学校教育の弊害を可能な限り克服する意味で、サバイバル英語(米語)-必要最低限の英語(米語)-を徹底的に学びながら、聴解力と発話力の増強を図ることを第一義的な目的に据えるものである。		
授業方法(学習指導法)	まずは、聴解力の増強に極めて効果的な英音・米音の音声的特徴や法則性(音法)について解説し、聴解力と発話力のバランスをとりながら、LL機器をフルに駆使して英語(米語)の運用能力を習得するトレーニングを行なっていく。尚、マテリアルとしては、日常会話表現や旅行英会話、洋楽、時事(ニュース)等、実用性の高いものを取り上げていく予定である。		
授業到達目標	本講座の受講によって、これまで英米語のリスニングに際し、疑問であつたことが解消されるはずである。また、受講者のトレーニング次第では、外国人との英会話をはじめ、洋楽、映画、英語ニュースの視聴時に、上達の喜びを体感できるものと思われる。『英語が止まって聞こえる』ようになることを究極の目標に掲げる。		
授業内容	授業内容(概要) 前半は、聴解力を増強させるうえで必須となる音声に関する知識の基礎固めを行なう。具体的には、基礎知識、及びリスニングに極めて有効な英音・米音の音声的特徴と法則性(音法)の習得である。中盤から後半は、リスニングとスピーキングのバランスをとりながら、発音矯正と並行して発話力の増強を目指す。限られた時間で実用英米語運用能力を促進させるトレーニングを行なっていくとともに、必要に応じて比較文化的視座から文化に関する実利的なトピックも織り交ぜつつ、言語と文化を包括して共時的に学ぶことを視野に入れた解説も展開する。		
	回	内容	
	1	オリエンテーション(授業方針についての説明、教材の配付、アンケートほか)	
	2	『なぜ日本人は英語の聞き取りが苦手なのか?』—分析結果の報告と対策法について	
	3	プレテスト、つながる音とカタカナ英語、近似カナ表記、母音、半母音/j/, /w/, /r/, /l/と/l/の発音	
	4	子音、調音形式、調音点、有声音と無声音、閉鎖音についての解説	
	5	子音の分類表を基にした音素に関する基礎知識の確認、単語レベルの発音クリニック	
	6	『音の連結』を聞き取るパターン(リエゾンの原則)、/t/, /d/, /g/の脱落、/t/, /d/のラ音化	
	7	連結しない場合の/l/, /h/の脱落、半母音/j/, /n/+/l/と/n/+/d/による音変化	
	8	『閉鎖音の連続による脱落』、『同じ子音の連続による脱落』を聞き取るパターン	
9	『同化』を聞き取るパターン(1)(半母音/j/に絡む音変化①)		

	10 『同化』を聞き取るパターン(2)(半母音/j/に絡む音変化②)、『調音点が近い子音の連続』
	11 『同化』を聞き取るパターン(3)(/h/の後続音への影響)、On an Airplane(1)
	12 On an Airplane(2)／VTR視聴／ニュースを聞き取る
	13 At an Airport(1)／洋楽を聞き取る
	14 At an Airport(2)／Taking a Taxi(1)／洋楽を聞き取る
	15 Taking a Taxi(2)／洋楽を聞き取る／まとめ
	16 定期試験 ※毎回、詳細に解説を施す予定であるため、上記の進度設定を変更する場合もある。尚、基本的な音法を習得した後に旅行英会話等への応用を試みるが、解説やトレーニングに加え、比較文化的視座から実利的なトピックも交えつつ講義を進めていく。
キーワード	音法
教科書・教材・参考書	(1) 英語リスニング-聞き取るための入門講座(ハンドアウト教材) (2) American(ハンドアウト教材) (3) アメリカの生活と文化(VTR教材)
成績評価の方法・基準等	定期試験(80%)、授業への積極的参加意欲(受講態度やトレーニングの状況20%)等の総合判定によって評価を行なう。
受講要件(履修条件)	配布された教材に対する予習復習は必須である。特に、毎時学んだ内容に関し、毎日のトレーニングを継続させることによって、実用英米語運用能力の促進が可能となる。したがって、復習に力点を置いた学習姿勢が望まれる。
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	





シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_英コミⅡ**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水5
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590003020	科目番号	05900030
授業科目名	●英語コミュニケーションⅡ(Tf)		
編集担当教員	中村 吏花		
授業担当教員名(科目責任者)	中村 吏花		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	中村 吏花		
科目分類	外国語科目、(教職免許科目他)、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	演習科目
教室	[全]402		
対象学生(クラス等)	Tf		
担当教員Eメールアドレス	arthur410@hotmail.co.jp(件名には必ず授業科目・学生番号・氏名を記入すること)		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	水曜昼休み		
授業のねらい	日本人と外国人のダイアログの内容を中心に、各課のトピックに関連した重要語句、表現方法を身に付ける。 ネイティブスピーカーのナチュラルなスピードの英語に慣れる。		
授業方法(学習指導法)	必ず復習をして授業に出席すること。問題の解答だけでなく、英文解釈や英文音読なども毎回無作為に指名して発表してもらう。テキスト付属のCDを活用して英語の音の特徴を確認するとともに、ディクテーションや音読など英語を読み・聞く訓練をする。授業中にそれぞれの問題のポイントと、内容を理解する。重要文法事項を解説する。		
授業到達目標	コミュニケーションの基礎となる基本的な文法・構文・表現方法を習得し、英語を正しく理解することが出来る。英語の4技能を総合的に向上させる。		
授業内容	ペア練習・グループ練習を繰り返し行う。語句・表現・文法の解説をする。英語の音の特徴・リズムを知り、英文の構造に慣れるため、CDを活用してディクテーションや音読など英語を聞き・読む訓練をする。英語の語順を意識して、長文を読む。授業には必ず復習をして臨み、辞書を持参してください。(電子辞書可。携帯電話は使用不可)。始めは聞き取れなくても気にせず、とにかく何度も繰り返しCDを聞いてください。あきらめずに続けていけばそのうち少しずつ英語の音に慣れていきます。頑張ってください。内容がよくつかめなときは、何がわからないのかを明らかにさせてきてください。文の構造がどうなっているのか、その文脈ではどういう意味でその単語が使われているのか、代名詞が何を指しているか、など細かく確認していくと、わからないところがはっきりすると思います。*教室に座っていれば出席というものではありません。他の人の発表に耳を傾け、疑問があれば質問し、積極的に授業に取り組んで初めて出席とみなします。授業開始時刻から30分までは遅刻を認めず。それより遅い入室は欠席扱いとします。		
	回	内容	
	1	第1回 4月6日 Introduction, What kind of person do you respect?	
	2	第2回 4月13日 What kind of person do you respect?	
	3	第3回 4月20日 Are you ready for your first job interview?	
	4	第4回 4月27日 Do you exercise?	
	5	第5回 5月11日 Are you afraid of the future?	
	6	第6回 5月18日 What will happen to the global economy?	
	7	第7回 5月25日 Review	
	8	第8回 6月1日 Have you ever been guilty of telling a white lie?	
	9	第9回 6月8日 Can you eat sushi?	
10	第10回 6月15日 Hobby, habit, or addiction?		

	11	第11回 6月22日 Can money buy happiness?
	12	第12回 6月29日 Is it positive or negative peer pressure?
	13	第13回 7月6日 Do you vote?
	14	第14回 7月13日 発表(1)
	15	第15回 7月20日 発表(2)
	16	第16回 7月27日 定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書	岩本典子『Reflections』(南雲堂、2011年)1785円 *必ずテキスト本体を入手して出席してください。テキストのない人の受講を認めません。	
成績評価の方法・基準等	定期試験40%、発表30%、課題30%	
受講要件(履修条件)	3分の2以上の出席がなければ受験資格を失います。(入院・出席停止の伝染病等を除き、病欠も欠席扱いとします)。正当な理由で欠席する場合は、その証明となる書類を提出してください(コピー可)。	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)		

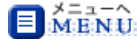


Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバスイ覧 > シラバス参照

[Login User](#)

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1800秒です。

印刷



シラバス参照

LiveCampus

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_英コミⅡ**」
シラバスの詳細は以下となります。

戻る

学期	前期	曜日・校時	木3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590003014	科目番号	05900030
授業科目名	●英語コミュニケーションⅡ (M15)		
編集担当教員	島山 均		
授業担当教員名(科目責任者)	島山 均		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	島山 均		
科目分類	外国語科目、(教職免許科目他)、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	演習科目
教室	[全]302		
対象学生(クラス等)	M15		
担当教員Eメールアドレス	hatakeyama@n-junshin.ac.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL	095-846-0084		
担当教員オフィスアワー	木曜日の授業の前後、非常勤講師室にて		
授業のねらい	Voice of Americaを素材として作成された教材を使い、主としてlistening、speaking、reading、の能力の向上を目的とする。特に音読の練習を重視し、英文を自然に読める能力を身に付ける。		
授業方法(学習指導法)	小テスト、テキストに従いlistening、reading、音読(発音、イントネーション、リズム能力)向上のために演習。		
授業到達目標	まとまった内容の英文を自然な英語の発音でスムーズに読め、かつ暗唱できる。 まとまった内容の英文を細部までしっかりと内容を理解できるように聞き取りれる。		
授業内容	テキストにしたがって英語での演習を行う。毎回、小テストまたは音読テストを行う。 必ず予習をしてくる事。		
	回	内容	
	1	Orientation 授業の目的、概要、成績評価の基準などの説明	
	2	Unit 1 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習	
	3	Unit 2 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習	
	4	Unit 3 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習	
	5	Unit 4 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習	
	6	Unit 5 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習	
	7	Unit 6 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習	
	8	Unit 7 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習	
	9	Unit 8 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習	
	10	Unit 9 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習	
	11	Unit 10 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習	
	12	Unit 11 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習	
	13	Unit 12 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習	
	14	7Unit 13 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習	
15	音読テスト		
16	定期試験(筆記試験)		

キーワード	
教科書・教材・参考書	安波誠祐・Richard Levin (2011) The Global Health and Environment: VOA Topics from Around the World 松柏社.
成績評価の方法・基準等	毎時間実施の小テスト----40% 音読テスト-----20% 期末試験-----40%
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	

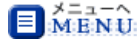


Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバス一覧 > シラバス参照

[Login User](#)

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1799秒です。

印刷



シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_英コミⅡ**」
シラバスの詳細は以下となります。

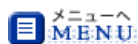
戻る

学期	前期	曜日・校時	木4																				
開講期間																							
必修選択	必	単位数	1.0																				
時間割コード	20110590003002	科目番号	05900030																				
授業科目名	●英語コミュニケーションⅡ(Kd)																						
編集担当教員	村岡 三奈子																						
授業担当教員名(科目責任者)	村岡 三奈子																						
授業担当教員名(オムニバス科目等)	村岡 三奈子																						
科目分類	外国語科目、(教職免許科目他)、A科目 外国語 既習																						
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	演習科目																				
教室	[全]301																						
対象学生(クラス等)	Kd																						
担当教員Eメールアドレス	muraoka@n-junshin.ac.jp																						
担当教員研究室	非常勤講師室																						
担当教員TEL	095-846-0084																						
担当教員オフィスアワー	長崎純心大学村岡研究室にて随時																						
授業のねらい	現代社会の身近な話題をトピックに、(1) 多角的な視点から論理的に思考し、(2) 自分の意見を表現する技能を段階的に養い、(3) 最終的に英語でプレゼンテーションできるようになることを目指す。																						
授業方法(学習指導法)	原則として、毎週、テキストを1章ずつ学習する。基本的 vocabulary の習得、listening 練習、スピーチ原稿の音読、内容に関する賛否両論の分析の順番で進める。予習を前提とし、毎回、授業のはじめに確認の小テストを行う。																						
授業到達目標	ある問題の肯定論・否定論を客観的に分析しながら、英語で意見を組み立て、伝達できるようになる。また、クラスメートの発表に対して、簡単な英語で質疑応答できるようになる。授業の最終回にプレゼンテーションを行い、その成果を発表する。																						
授業内容	<p>第1回 イン트로ダクション 第2回 Unit 1:Smoking should be banned in all public places 第3回 Unit 2:What's wrong with downloading? 第4回 Unit 3:Pet owners should be responsible for their pets until the end 第5回 Unit 4:Domestic violence should not be tolerated 第6回 Unit 5:How can we prevent suicides? 第7回 Unit 6:Colleges should offer driving lessons 第8回 Unit 7:Schools should not force students to do volunteer work 第9回 Unit 8:Should the age of adulthood be lowred in Japan? 第10回 Unit 9:Should English be taught in primary schools? 第11回 Unit 10:Should we let children use cellphones? 第12回 Unit 11:Should the consumption tax be raised? 第13回 Unit 12:Will telecommuting work in Japan?第14回 Unit 13:Do you vote? 第15回 プレゼンテーション</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4月14日 イン트로ダクション</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4月21日 Unit 1</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4月28日 Unit 2</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>5月12日 Unit 3</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5月19日 Unit 4</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5月26日 Unit 5</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>6月2日 Unit 6</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>6月9日 Unit 7</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>6月16日 Unit 8</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	4月14日 イン트로ダクション	2	4月21日 Unit 1	3	4月28日 Unit 2	4	5月12日 Unit 3	5	5月19日 Unit 4	6	5月26日 Unit 5	7	6月2日 Unit 6	8	6月9日 Unit 7	9	6月16日 Unit 8
回	内容																						
1	4月14日 イン트로ダクション																						
2	4月21日 Unit 1																						
3	4月28日 Unit 2																						
4	5月12日 Unit 3																						
5	5月19日 Unit 4																						
6	5月26日 Unit 5																						
7	6月2日 Unit 6																						
8	6月9日 Unit 7																						
9	6月16日 Unit 8																						

	10	6月23日 Unit 9
	11	6月30日 Unit 10
	12	7月7日 Unit 11
	13	7月14日 Unit 12
	14	7月21日 Unit 13
	15	7月28日 プレゼンテーション
	16	第16回 定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書	教科書: Your First Speech and Presentation (Nan'un-do)	
成績評価の方法・基準等	授業への積極的参加状況:10% 小テスト:20%プレゼンテーション:30% 筆記試験:40%	
受講要件(履修条件)		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)		



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_英コミⅡ**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	金1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590003038	科目番号	05900030
授業科目名	●英語コミュニケーションⅡ (M12)		
編集担当教員	西原 俊明		
授業担当教員名(科目責任者)	西原 俊明		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	西原 俊明		
科目分類	外国語科目、(教職免許科目他)、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	演習科目
教室	[全]322		
対象学生(クラス等)	M12		
担当教員Eメールアドレス	t-nishi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室			
担当教員TEL	095-819-2095		
担当教員オフィスアワー	火曜日12:50~13:30 他は、only by appointment		
授業のねらい	基礎的な英語運用能力を高めることを授業のねらいとする。特に、音声言語によるコミュニケーション能力向上を目指す。また、リスニング教材・リーディング教材として医学英語にふれる。		
授業方法(学習指導法)	授業の前半では、日本人学習者が抱えるリスニング上の問題点を理解する訓練、速読の訓練、表現力を養うPlain Englishによる表現練習を行う。授業の後半では、前半で行う訓練を発展させたauthenticな教材・題材を用いた訓練を行う。英語音声学・応用言語学・言語学等の知見を取り入れ、ペアワークやインフォメーションギャップを用いたコミュニケーション活動を中心に行う。医学的な話題を扱った英字新聞記事を速読する。		
授業到達目標	授業を通して、種々の速読のスキル、リスニングストラテジー、英語によるコミュニケーション活動に慣れ、基礎的なコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。また、基礎的な医学英語に関する語彙、表現を身につける。		
授業内容	英語の獲得をスキルの獲得ととらえて、スキル獲得のための訓練を様々な手法を用いて行う。		
	回	内容	
	1	4月8日 第1回 オリエンテーション 授業の進め方、及び授業で取り上げるスキルの概要説明	
	2	4月15日 第2回 英語のリズム(1)、速読(phrase reading)とペアワーク(1)、医者と患者の会話(1)	
	3	4月22日 第3回 Voice Aerobics、医者と患者の会話(2)	
	4	5月6日 第4回 リズムユニットの理解とシャドーイング(1)、医者と患者の会話(3)	
	5	5月13日 第5回 リズムユニットの理解とシャドーイング(2)、医者と患者の会話(4)	
	6	5月20日 第6回 弱く発音される音、医者と患者の会話(5)	
	7	5月27日 第7回 インフォメーションギャップによるペアワーク(1)、映画による聞き取り(1)、	
	8	6月3日 第8回 聞こえなくなる音、医者と患者の会話(5)、速読(2)	
	6月10日		

	9	第9回 インフォメーションギャップによるペアワーク(2), 医者と患者の会話(6)
	10	6月17日 第10回 グループによるディスカッション(1), 速読(3)
	11	6月24日 第11回 なくなる音, 医者と患者の会話(7), 速読(4)
	12	7月1日 第12回 ひとつになる音, インフォメーションギャップによるペアワーク(3)
	13	7月8日 第13回 つながる音, 医者と患者の会話(8), 速読(5)
	14	7月15日 第14回 医者と患者の会話(9), 速読(6)
	15	7月22日 第15回 Review、及びまとめテスト
	16	
キーワード	医学英語、音変化、速読	
教科書・教材・参考書	Medical English Clinic、及びプリント教材。	
成績評価の方法・基準等	教員評価分【まとめテスト(30%)、小テスト(60%)、積極的な授業への参加(10%)等を総合的に判断する。小テストは医学英語表現を対象として毎回行う。	
受講要件(履修条件)	毎回、復習を行うこと。	
本科目の位置づけ	英語コミュニケーションの基礎的能力を身につけると同時に、学部教育への橋渡しとしての医学英語にふれる。	
学習・教育目標	基礎的医学英語に関わる表現等を身につける。また、大学レベルの英語に必要なスキルを身につける。	
備考(URL)		
備考(準備学習等)	毎回実施される医学英語の小テストに備えた準備をすること。授業で紹介される聞き取りのこつ等を必ず復習すること。	





シラバス参照

LiveCampus

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_英コミⅡ**」
シラバスの詳細は以下となります。

学期	前期	曜日・校時	金3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590003010	科目番号	05900030
授業科目名	●英語コミュニケーションⅡ(Ti)		
編集担当教員	ルウイエル		
授業担当教員名(科目責任者)	ルウイエル		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	ルウイエル		
科目分類	外国語科目、(教職免許科目他)、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	演習科目
教室	[全]321		
対象学生(クラス等)	Ti		
担当教員Eメールアドレス	dannyl@excite.com		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスマワー	授業の前後		
授業のねらい	The goal of this course is to give students extensive practice in everyday conversational English with emphasis on informal styles and pronunciation.		
授業方法(学習指導法)	During class students will spend as much time as possible speaking in English. Students will work in pairs and in groups using English in a variety of situations. Active participation is central to the success of the class.		
授業到達目標	Ideally, after completion of the course students will be better prepared to converse in the international community at a basic level.		
授業内容	The text will be used in every class providing work in listening, speaking, reading and writing.		
	回	内容	
	1	1: Introductions - Interviews - Class Outline - Homework Explanation	
	2	2: Introduce Partner - Welcome Game	
	3	3: Countries - Casual language - Meeting People	
	4	4: Likes - Jobs - Hometowns - More Casual language - Reductions.	
	5	5: My City - Directions Part 1	
	6	6: My Neighborhood - Directions Part 2 - Weather	
	7	7: Music - Adventures - Time	
	8	8: Mid Semester Review Activities	
	9	9: Movies - Famous People - Entertainment	
	10	10: Free time - Sports - Going out	
	11	11: Eating out - Restaurants	
	12	12: Shopping - Fashion	
	13	13: Personality - Describing People - Dating	
	14	14: Holidays - Dates - Festivals	
	15	15: Travel - Vacations - The Future - Exam Information	
16	16: Final Exam		

キーワード	
教科書・教材・参考書	Adventures in English 1, Adventures in English 1 Workbook
成績評価の方法・基準等	Grading will be based on attendance/participation (working with a partner, bringing your book to class) (30%), workbook (30%) and a final test (40%).
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	Workbook to be done at home - not in class.



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

LiveCampus

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_英コミⅡ**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	金4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590003011	科目番号	05900030
授業科目名	●英語コミュニケーションⅡ (Te)		
編集担当教員	ルウイエル		
授業担当教員名(科目責任者)	ルウイエル		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	ルウイエル		
科目分類	外国語科目、(教職免許科目他)、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	演習科目
教室	[全]321		
対象学生(クラス等)	Te		
担当教員Eメールアドレス	dannyl@excite.com		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスマワー	授業の前後		
授業のねらい	The goal of this course is to give students extensive practice in everyday conversational English with emphasis on informal styles and pronunciation.		
授業方法(学習指導法)	During class students will spend as much time as possible speaking in English. Students will work in pairs and in groups using English in a variety of situations. Active participation is central to the success of the class.		
授業到達目標	Ideally, after completion of the course students will be better prepared to converse in the international community at a basic level.		
授業内容	The text will be used in every class providing work in listening, speaking, reading and writing.		
	回	内容	
	1	1: Introductions - Interviews - Class Outline - Homework Explanation	
	2	2: Introduce Partner - Welcome Game	
	3	3: Countries - Casual language - Meeting People	
	4	4: Likes - Jobs - Hometowns - More Casual language - Reductions.	
	5	5: My City - Directions Part 1	
	6	6: My Neighborhood - Directions Part 2 - Weather	
	7	7: Music - Adventures - Time	
	8	8: Mid Semester Review Activities	
	9	9: Movies - Famous People - Entertainment	
	10	10: Free time - Sports - Going out	
	11	11: Eating out - Restaurants	
	12	12: Shopping - Fashion	
	13	13: Personality - Describing People - Dating	
	14	14: Holidays - Dates - Festivals	
	15	15: Travel - Vacations - The Future - Exam Information	
16	16: Final Exam		

キーワード	
教科書・教材・参考書	Adventures in English 1, Adventures in English 1 Workbook
成績評価の方法・基準等	Grading will be based on attendance/participation (working with a partner, bringing your book to class) (30%), workbook (30%) and a final test (40%).
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	Workbook to be done at home - not in class.



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_英コミⅡ**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	月4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590003017	科目番号	05900030
授業科目名	●英語コミュニケーションⅡ(La)		
編集担当教員	井石 哲也		
授業担当教員名(科目責任者)	井石 哲也		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	井石 哲也		
科目分類	外国語科目、(教職免許科目他)、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	演習科目
教室	[全]204		
対象学生(クラス等)	La		
担当教員Eメールアドレス	iseki@kwassui.ac.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL	095-822-4107(内線257)		
担当教員オフィスアワー	活水女子大学井石研究室にて要確認		
授業のねらい	英語読解力養成と聞き取り(イギリス英語の会話表現等)、イギリス文化理解		
授業方法(学習指導法)	使用テキストの英文(400語前後)を、構文を把握しながら精読し、正確に理解する。またイギリス英語の会話を理解できるように、聞き取りの能力を養成する。		
授業到達目標	英語読解力の養成とともに、現代イギリスのさまざまな文化の諸相について理解することを目標とする。		
授業内容	第1回 受講上の注意、テキストの使用法(第1章をサンプルとして)と授業の進め方について説明を行う。第2回～第15回は各回のトピックに従って英文の読解と聞き取りの演習を行い、第16回目2月13日に定期試験を実施する。		
	回	内容	
	1	10月3日 導入・テキストChapter 1: Animals:Fictional and Real	
	2	10月17日 Chapter 2: Exporting Sport	
	3	10月24日 Chapter 3: Literature:The Reading Boom	
	4	10月31日 Chapter 4: Eating Habits:Changing Tastes	
	5	11月7日 Chapter 5: Art:Attitudes and Anonymity	
	6	11月14日 Chapter 6: Population: Food for Thought	
	7	11月28日 Chapter 7: Antiques:Older is Often Better	
	8	12月5日 Chapter 8: Smoke-free Britain	
	9	12月12日 Chapter 9: Edinburgh:A City of Festivals	
	10	12月19日 Chapter 10: Television:Reflecting Our Lives	
	11	12月26日 Chapter 11: Structures of the Millennium	
	12	1月16日 Chapter 12: Leisure:Indoor and Outdoor	
	13	1月23日 Chapter 13: Education in the UK	
	14	1月30日 Chapter 14: Superstition and Beliefs	
	15	2月6日 Chapter 15: Pedal Power	
16	2月13日 定期試験		
キーワード			

教科書・教材・参考書	Anthony Allan, Tetsuya & Reiko Iseki, Insight into Britain (Kinseido, 2010)
成績評価の方法・基準等	定期試験70点、授業における発表と取り組み30点の配点とする。
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_英コミⅡ**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	火1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590003018	科目番号	05900030
授業科目名	●英語コミュニケーションⅡ(Ec)		
編集担当教員	川島 浩勝		
授業担当教員名(科目責任者)	川島 浩勝		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	川島 浩勝		
科目分類	外国語科目、(教職免許科目他)、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	演習科目
教室	[全]302		
対象学生(クラス等)	Ec		
担当教員Eメールアドレス			
担当教員研究室	長崎外国語大学 3階334研究室		
担当教員TEL	095-840-2000		
担当教員オフィスアワー	授業終了後、質問を受けつける。また、話し合いにより、後日、時間を設定する場合がある。		
授業のねらい	英語によるコミュニケーションを円滑に行うのに必要とされる口語英語運用能力の基礎を作る。		
授業方法(学習指導法)	様々なタスクを用い、リスニングにフォーカスをあてた授業を行う。受講者が自己のリスニング能力を客観的に把握・理解できる場面が用意され、同時に、リスニングの学習法を学べるように授業が組み立てられている。		
授業到達目標	本授業の到達目標は、1)口語英語のスピード・イントネーション・リズムに対応できる、2)リスニングに対応できる語彙数を増やす、3)英語のミニマルペアーの聞き分けができる、4)英語のミニマルペアーを正しく発音できる、5)英語の連続音を正しく理解し、聞き取ることができる、である。		
授業内容	<p>第1回: 授業方針の説明・英語力診断テスト</p> <p>第2回～第7回: 90分授業を大まかに下記の4つのパートに分け授業を行う。 A: Extensive Listening 1 (アメリカの家族生活を題材としたDVD: Level 1) B: リスニングのための語彙力アップ (Level 1) C: コンテキストなしのミニマルペアーの識別・発音練習 D: 連続音の特徴の整理</p> <p>第8回: 授業内容A～Dのまとめ・リスニング力把握テスト(1)</p> <p>第9回～第14回: 90分授業を大まかに下記の4つのパートに分け授業を行う。 E: Extensive Listening 2 (アメリカの家族生活を題材としたDVD: Level 2) F: リスニングのための語彙力アップ (Level 2) G: コンテキストありのミニマルペアーの識別・発音練習 H: 連続音の聞き取り・書き取り</p> <p>第15回: 授業内容E～Hのまとめ・リスニング力把握テスト(2)</p> <p>第16回: 学期末試験(1月31日)</p>		

	<p>-----</p> <p>2011.10.4 授業方針の説明・英語力診断テスト 2011.10.11 上記の授業内容(A-D) 2011.10.18 上記の授業内容(A-D) 2011.10.25 上記の授業内容(A-D) 2011.11.1 上記の授業内容(A-D) 2011.11.8 上記の授業内容(A-D) 2011.11.15 上記の授業内容(A-D) 2011.11.22 授業内容A～Dのまとめ・リスニング力把握テスト(1) 2011.11.29 上記の授業内容(E-H) 2011.12.6 上記の授業内容(E-H) 2011.12.13 上記の授業内容(E-H) 2011.12.20 上記の授業内容(E-H) 2012.1.10 上記の授業内容(E-H) 2012.1.17 上記の授業内容(E-H)・リスニング力把握テスト(2) 2012.1.24 全授業のまとめ 2012.1.31 学期末試験</p>
キーワード	リスニング・語彙力・ミニマルペアー・リーディング・文理解・音読
教科書・教材・参考書	基本的にはプリント教材を配布するが、第1回目の授業で実施する英語力診断テストの結果によっては、副教材を購入する場合がある。
成績評価の方法・基準等	学期末試験80%・レポート20%とする。なお、欠席1回でマイナス7点(正当な理由がある場合は考慮する)となる等の「授業ルール」があるので注意すること。詳細は、第1回目の授業で配布する資料を参照すること。
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	





シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_英コミⅡ**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	火2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590003034	科目番号	05900030
授業科目名	●英語コミュニケーションⅡ(P18)		
編集担当教員	RUHL DAWN MICHELE		
授業担当教員名(科目責任者)	RUHL DAWN MICHELE		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	RUHL DAWN MICHELE		
科目分類	外国語科目、(教職免許科目他)、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	演習科目
教室	[全]125		
対象学生(クラス等)	P18		
担当教員Eメールアドレス	michele@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	大学教育機能開発センター2F		
担当教員TEL	+ 81(0)95 - 819 - 2082		
担当教員オフィスアワー	月 - 金 12:00-12:45; 月・木 14:30 - 17:00		
授業のねらい	この授業では、英語の流暢さを向上させることを目的としています。Free Writing、Free Readingやアクティブ・リスニング、広範囲のリーディングをとり入れて何週間も続けていきます。生徒は、マインドマップの作り方とSWIHや例を含めたPersonal Storiesの作り方を学びます。広範囲のリーディングを通して、生徒は多方面にわたるテーマに詳しくなり、またPersonal Storiesや引用文の中でこれらのテーマがわかるようになります。理論的な文章を書くことは、トピックやPersonal Storiesや広範囲のリーディング、またFree Writing、Free Speakingなど主な学習範囲で使用した例と関連づけて実践していきます。		
授業方法(学習指導法)	毎週行うFree Writingやリーディング、クラスログ、マップ、クラスでの活動は用意された授業用ノートに保存をしていきます。アクティブ・リスニングを用いて、トピックやStoriesを個別またはパートナーと録音します。2つのアクティブ・リスニングの文章を書き、それが採点されます。複数あるスピーキングの例からスピーキング・ポートフォリオをつくります。また、これは生徒同士で採点します。録音したものはすべてUSBに保存してください。学術的な文章を書く課題(2回)は、宿題となります。生徒の質問に答えたり、教員から例を挙げてもらったりする時間は十分にあります。授業は真面目に取り組み、毎週宿題をかかさずに行ってください。		
授業到達目標	事前に書いた文章を読むのではなく、経験や詳細、例を挙げながら自分のことを話せるようになること。 アクティブ・リスニング(相槌)の重要性を実感し、書かれた文章をアクティブ・リスニングで表現できる。 理論的で複雑な文章を2つ書き上げる。 英語を流暢に読み・書き・話す能力と速読力を向上させること。		
授業内容	第1回 Purchase books; Class Outline, timetable and weekly Basic Homework (B.H.W.) 第2回 Interview Topics and Mind Mapping; Reading Benchmark. 第3回 Active Listening intro - Homepage; Topic Interviews (Answer 8 questions). 第4回 Record topics solo using maps & with a partner Active Listening(AL)&TPO 第5回 1st Speaking Fluency Check 第6回 Introduce Einstein Quotes and Paragraph writing;choose a quote. 第7回 Einstein Quote Solo; Introduce Homepage Stories & Speaking Portfolio options. 第8回 Midterm Check- Basic Homework&Narrative Essay 1. 第9回 Portfolio Choices and Practice Schedule must be finished in class today.		

	<p>第10回 Midterm Speaking Fluency Check. 第11回 X-Factors with personal stories. 第12回 X-Factors with Speaking & AL 第13回 Record and check Personal Story Script with X-Factors. 第14回 Final Speaking Fluency Check. 第15回 Random Partner Portfolio Evaluations & Portfolio Self Evaluations. 第16回 Final Class Check- Basic Homework & Narrative Essay 2.</p>
キーワード	extensive Flow mind map narrative portfolio timed
教科書・教材・参考書	<p>5 Books for Extensive Reading@ ¥3800 *マイク付ヘッドフォン、4GBのUSBフラッシュメモリー@ ¥2800 *カラーペンx5と蛍光ペンx2</p>
成績評価の方法・基準等	<p>Basic Homework 25% Speaking Portfolio 25% Active Listening 25% Paragraph Writing 25%</p>
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	





シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_英コミⅡ**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	火3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590003024	科目番号	05900030
授業科目名	●英語コミュニケーションⅡ (Ee)		
編集担当教員	松村 ラッタナー		
授業担当教員名(科目責任者)	松村 ラッタナー		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	松村 ラッタナー		
科目分類	外国語科目、(教職免許科目他)、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	演習科目
教室	[全]203		
対象学生(クラス等)	Ee		
担当教員Eメールアドレス	mratana46@yahoo.com		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL	095-882-6656		
担当教員オフィスアワー	By appointment.		
授業のねらい	This is a four-skill course with an emphasis on improving students' listening and speaking skills. Students will learn to use appropriate vocabulary, language functions and structures in common business situations.		
授業方法(学習指導法)	Students are expected to prepare for each lesson, fully participate in communication activities, and complete self-study exercises. Tasks will require students to work in pairs or in groups. Audiovisual aids, games, information gaps, and basic presentation techniques will be incorporated to stimulate participation.		
授業到達目標	By the end of the course, students would be able to: - demonstrate their understanding of dialogues and monologues presenting the target functions within the range of the themes covered by completing required activities; - express themselves by using correct language functions in different situations; - give a short presentation concerning a theme covered in class.		
授業内容	The scope of the course includes essential pronunciation and stress patterns, listening and conversation strategies, cultural information essential for doing business, and the selected funtions below.		
	回	内容	
	1	10月4日 Units 1/2 Introductions in the business world	
	2	10月11日 Unit 3 Business routines	
	3	10月18日 Unit 4 Current activities	
	4	10月25日 Unit 5 Describing company history	
	5	11月1日 Unit 6 Making telephone arrangements	
	6	11月8日 Unit 7 Describing locations	
	7	11月15日 Unit 8 Asking for and giving directions	
	8	11月22日 Review and consolidation / Midterm	
	9	11月29日 Unit 9 Taking a trip	
	10	12月6日 Unit 10 Socializing	
	11	12月13日 Unit 11 Explaining your culture	

	12	12月20日	Unit 12 Making comparisons
	13	1月10日	Unit 13 Giving advice about projects
	14	1月17日	Unit 14 Talking about business plans
	15	1月24日	Student presentation
	16	第16回	1月31日 定期試験
キーワード			
教科書・教材・参考書	Global Links 1: English for International Business by Keith Adams and Rafael Dovale		
成績評価の方法・基準等	Participation 10% Homework and self-study 20% Midterm exam 20% Student presentation 30% Final exam 20%		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ			
学習・教育目標			
備考(URL)			
備考(準備学習等)			



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

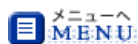
タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_英コミⅡ**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	火3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590003029	科目番号	05900030
授業科目名	●英語コミュニケーションⅡ (Fa)		
編集担当教員	ローン 悦子		
授業担当教員名(科目責任者)	ローン 悦子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	ローン 悦子		
科目分類	外国語科目、(教職免許科目他)、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	演習科目
教室	[全]302		
対象学生(クラス等)	Fa		
担当教員Eメールアドレス	etsukolawn@hotmail.com		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	授業の前後、またはメールにて質問を受け付けます。		
授業のねらい	本授業では、実用的な英会話の表現を習得します。特にリスニングとスピーキングに力を入れながら基礎的な英語運用能力の向上を目指します。		
授業方法(学習指導法)	授業では、基礎的なコミュニケーションに役に立つようなフレーズを指定されたテキストを使い学習していきます。また、新しい語彙、表現力を増やすためにauthenticな教材、洋画を使用し(DVD視聴)、Readers' theaterなどの活動を通してペアワーク、グループワークをより多く取り入れて授業を進めていきます。英語圏の文化、習慣の違いにも触れていきます。		
授業到達目標	授業を通して、英語コミュニケーション活動に慣れ親しみ、基礎的なコミュニケーション能力を身につけることを目標とします。英語話者と話す機会がある場合に、状況に合った丁寧、あるいはカジュアルな表現を使い分け、躊躇することなく会話できるようになることを目指します。また洋画を英語で(音声、字幕共)より理解できるようにすることを目標とします。		
授業内容	授業では、コミュニケーションに役に立つような基礎的なフレーズを指定されたテキストを使い学習していきます(全12課からなっていますが、授業の進み具合で調節しながら進めていきます)。特に実用的なコミュニケーション能力を向上させるために、授業を通して、種々のリーディングスキル、リスニングストラテジーを学習しながら、受講生には回答の機会を出来る限り設け、ペアワーク、グループワークを通して学んだ表現の定着を図ります。テキスト中の基礎的な構文は、自然に口からついて出てくる程度にするために、付属のCDを使用し予習、復習をして授業に臨んで下さい(特にスピーキングとリスニング力アップのために、各自音読、リピーティング、オーバーラッピング、シャドーイング、ディクテーション等の練習に力を入れて下さい)。DVDの視聴、補助教材も適宜使用していきます		
	※授業の進み具合で、上記の進度、内容設定を変更する場合があります。		
	回	内容	
	1	第1回 10月4日 オリエンテーション 授業の進め方 Self-introduction	
	2	第2回 10月11日 Getting to know each other スキルの概要説明 DVD視聴(2回目以降も継続的に視聴予定)	
	3	第3回 10月18日 Invitation and Appointments Readers' theater の練習方法の説明	
	4	第4回 10月25日 Invitation and Appointments	
	5	第5回 11月1日 Review	
	6	第6回 11月8日 Comparative Cultures	
	7	第7回 11月15日 Comparative Cultures	
8	第8回 11月22日 Review		

	9	第9回 11月29日 Telephone Conversation
	10	第10回 12月6日 Group work for the presentation
	11	第11回 12月13日 Presentation
	12	第12回 12月20日 Review
	13	第13回 1月10日 Permission and Suggestions
	14	第14回 1月17日 Intensions
	15	第15回 1月24日 Review
	16	第16回 1月31日 定期試験
キーワード	フレーズリーディング、シャドーイング、リピーティング、ディクテーション	
教科書・教材・参考書	教科書としてTadashi Shinozawa Gregory A. King 著 『New Activator』 金星堂 を使用します。第1回目の授業までに、必ず生協の販売コーナーで各自購入して下さい。	
成績評価の方法・基準等	定期試験(50%)、授業中の発表、小テスト、課題、プレゼンテーション(40%)、積極的な授業への参加(10%)を総合的に判断します。	
受講要件(履修条件)	教科書、英語辞典(電子辞書も可)を、毎回持参、また毎回授業に出席すること時間厳守。 学習した内容は、きちんと復習すること！。	
本科目の位置づけ	英語コミュニケーションの基礎能力を身につけるストラテジーを習得し、日本人学習者の苦手な音声言語コミュニケーション能力の向上を目指す。	
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)	各自テキスト付属のCDを使用し予習、復習をして授業に臨んで下さい。	





シラバス参照

LiveCampus

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_英コミⅡ**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	火3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590003033	科目番号	05900030
授業科目名	●英語コミュニケーションⅡ(Fb)		
編集担当教員	メリッサ マカラド		
授業担当教員名(科目責任者)	メリッサ マカラド		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	メリッサ マカラド		
科目分類	外国語科目、(教職免許科目他)、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	演習科目
教室	[全]401		
対象学生(クラス等)	Fb		
担当教員Eメールアドレス	Melissa Ramos Macalalad/ cgsatuito@aqr.bbiq.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL	095-883-4228		
担当教員オフィスアワー	By appointment		
授業のねらい	This course is designed to improve students' proficiency in listening and speaking English. The textbook of this course was written specifically for Japanese learners of English, and provides a comprehensive list of essential sentence patterns necessary for communicating in common situations, provided with Japanese translations of the sample sentences, words and phrases, as well as, additional explanations written in Japanese.		
授業方法(学習指導法)	This course will focus mainly on listening and oral tasks involving repeating practice of the sample sentences given in the textbook. The students will also practice conversation pieces that use the sentence patterns being taken up, and will be guided in using correct pronunciation, intonation, rhythm and accent. Useful words and phrases will also be introduced on each class meeting.		
授業到達目標	By the end of this course, students would be able to: <input type="checkbox"/> express themselves by using correct and appropriate language functions in different situations; <input type="checkbox"/> comprehend what is being asked or expressed in a conversation; <input type="checkbox"/> understand the meaning of words and phrases commonly used in typical situations.		
授業内容	This course takes up 9 units of the textbook and its supplementary CD, and handouts to be distributed in class.		
	回	内容	
	1	Guidance of course requirements; self-introduction; overview of Unit 1	
	2	Unit 1- Sentence patterns for questions, instructions, requests, verifications and explanations	
	3	Unit 2- Sentence patterns using We/ You/They as subjects	
	4	Unit 3- Interrogatives: functions and situations: Part I	
	5	Unit 3- Interrogatives: functions and situations: Part II	
	6	Unit 3- Interrogatives: functions and situations: Part III	
	7	Unit 4- Sentence patterns with noun clauses: Part I	
	8	Unit 4- Sentence patterns with noun clauses: Part II	
	9	Unit 5- Sentence patterns using modals Part I;	
	10	Unit 5- Sentence patterns using modals Part II; simple future and volitional future forms	
	11	Unit 6- Sentence patterns using the Present Perfect	
	12	Unit 6- Sentence patterns using the Present and Past Continuous, and the Passive forms	

	13	Unit 7- Sentence patterns with subject + verb + person + to do
	14	Unit 9- Sentence patterns using causative and sensory verbs
	15	Unit 10- Sentence patterns showing comparisons and degrees/levels; review of patterns taken up
	16	第16回 is Final Exam
キーワード	sentence patterns, situations, verb tenses, 続きは備考へ	
教科書・教材・参考書	コミュニケーションのためのパターン英文600; Handouts to be distributed in class	
成績評価の方法・基準等	Class participation and attendance: 40% Final Exam: 60%	
受講要件(履修条件)	sentence patterns, situations, verb tenses, pronunciation, intonation, rhythm, accent	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)	キーワードの続き verb tenses, pronunciation, intonation, rhythm, accent	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学教育_英コミⅡ**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	火4																						
開講期間																									
必修選択	必	単位数	1.0																						
時間割コード	20110590003001	科目番号	05900030																						
授業科目名	●英語コミュニケーションⅡ (Eg)																								
編集担当教員	前川 智子																								
授業担当教員名(科目責任者)	前川 智子																								
授業担当教員名(オムニバス科目等)	前川 智子																								
科目分類	外国語科目、(教職免許科目他)、A科目 外国語 既習																								
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	演習科目																						
教室	[全]205																								
対象学生(クラス等)	Eg																								
担当教員Eメールアドレス	t-mae@asca-iso.jp																								
担当教員研究室	非常勤講師室																								
担当教員TEL																									
担当教員オフィスパワー	授業の前後10分間																								
授業のねらい	英語を聞く・読む・書く・話すという総合的な英語コミュニケーション力を高め、最終的には人前でスピーチができるようになることがねらいである。																								
授業方法(学習指導法)	読む前にエッセイを聞いて内容を理解するリスニング演習を行う。練習問題を解きながら語彙力・内容把握力向上を目指す。内容が分かった上で本文のoverlapping, shadowingを行い、英語らしい発音・イントネーションを習得しながらリスニング力を向上させる。次にディクテーションを行い、リスニング力と語彙力を確認する。各エッセイの要約を書くことで書くコミュニケーション力を、毎回グループ内で要約を発表したり、他の話題を話す練習を行うことで話すコミュニケーション力をつける。このような演習を繰り返しながら中間テストとしてのショート・スピーチや最終スピーチに備える。練習問題、アウトライン・要約・スピーチ原稿を書くなどは宿題とし、授業中は問題の答えあわせと説明、リスニング、音読、overlapping・shadowing、スピーキングの時間とする。教員は原則として英語で指導するので、説明を聞く際にも集中しておくこと。学生もペアやグループ内で話すときも出来るだけ英語で話すように心がけ、授業時間全体を英語コミュニケーションの時間としたい。																								
授業到達目標	エッセイの要約を書き、話すことができる。関心のある問題・話題について、更に自分の意見等を英語で書き、それを原稿を見ないで発表できるようになる。また、その過程において、英語の読解力・語彙力、発音・イントネーション、リスニング力が上達する。																								
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>第1回 Orientation 教科書販売、中間テスト・期末テストのテーマについて/ Ch.1</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>第2回 Ch.1: September 11 / アウトライン・要約の書き方とstory-telling について</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>第3回 Ch.1(story-telling) / Ch.2: Beyond "September 11"</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>第4回 Ch.2(story-telling) / Ch.3 : The Stone Walk</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>第5回 Ch.3(story-telling) / Ch. 4 : Students' Power in the Stone Walk</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>第6回 Ch.4(story-telling) / Ch. 5: Japan and My Family / アウトライン・スピーチ原稿の書き方、スピーチの仕方</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>第7回 <スピーチ原稿提出> 中間テスト(1) Short speech 1: Ch. 1&2 又は 3&4 /英語でのスピーチ講評(グループ)</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>第8回 Ch.5(story-telling) / Ch. 6 : The Japan that I love</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>第9回 Ch.6(story-telling) / Ch.9:The Art of Memory</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>第10回 Ch.9(story-telling) / Ch.10:Statues for Peace</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	第1回 Orientation 教科書販売、中間テスト・期末テストのテーマについて/ Ch.1	2	第2回 Ch.1: September 11 / アウトライン・要約の書き方とstory-telling について	3	第3回 Ch.1(story-telling) / Ch.2: Beyond "September 11"	4	第4回 Ch.2(story-telling) / Ch.3 : The Stone Walk	5	第5回 Ch.3(story-telling) / Ch. 4 : Students' Power in the Stone Walk	6	第6回 Ch.4(story-telling) / Ch. 5: Japan and My Family / アウトライン・スピーチ原稿の書き方、スピーチの仕方	7	第7回 <スピーチ原稿提出> 中間テスト(1) Short speech 1: Ch. 1&2 又は 3&4 /英語でのスピーチ講評(グループ)	8	第8回 Ch.5(story-telling) / Ch. 6 : The Japan that I love	9	第9回 Ch.6(story-telling) / Ch.9:The Art of Memory	10	第10回 Ch.9(story-telling) / Ch.10:Statues for Peace
回	内容																								
1	第1回 Orientation 教科書販売、中間テスト・期末テストのテーマについて/ Ch.1																								
2	第2回 Ch.1: September 11 / アウトライン・要約の書き方とstory-telling について																								
3	第3回 Ch.1(story-telling) / Ch.2: Beyond "September 11"																								
4	第4回 Ch.2(story-telling) / Ch.3 : The Stone Walk																								
5	第5回 Ch.3(story-telling) / Ch. 4 : Students' Power in the Stone Walk																								
6	第6回 Ch.4(story-telling) / Ch. 5: Japan and My Family / アウトライン・スピーチ原稿の書き方、スピーチの仕方																								
7	第7回 <スピーチ原稿提出> 中間テスト(1) Short speech 1: Ch. 1&2 又は 3&4 /英語でのスピーチ講評(グループ)																								
8	第8回 Ch.5(story-telling) / Ch. 6 : The Japan that I love																								
9	第9回 Ch.6(story-telling) / Ch.9:The Art of Memory																								
10	第10回 Ch.9(story-telling) / Ch.10:Statues for Peace																								

	11	第11回 <スピーチ原稿提出> 中間テスト(2) short speech 2: Ch. 5&6 又は 9&10 /英語でのスピーチ講評(グループ) / 最終スピーチテーマについて
	12	第12回 <最終スピーチ・アウトライン提出> Preparation for the final speech
	13	第13回 <最終スピーチ原稿提出> Preparation for the final speech
	14	第14回 一班:スピーチ発表、二班、三班:スピーチ観賞と評価(評価レポート提出)
	15	第14回 一班:スピーチ発表、二班、三班:スピーチ観賞と評価(評価レポート提出)
	16	第16回 三班:スピーチ発表、一班、二班:スピーチ観賞と評価(評価レポート提出)
キーワード	スピーキング	
教科書・教材・参考書	「Peace Talk」(開文社出版、前川智子編著、Andrea LeBlanc 外著) / 新聞記事、インターネット記事など	
成績評価の方法・基準等	期末テスト:スピーチ(30%) / 中間テスト:ショート・スピーチ2回(20%) / 他人のスピーチ評価レポート(10%) / 課題提出(20%)提出課題は期限厳守のこと / その他の宿題・story-tellingなどの授業中の活動(20%)	
受講要件(履修条件)	原則として全回出席をしなければ単位は成立しない。正当な理由があっても、欠席が4回となると期末テストを受ける資格を失う。30分以上の遅刻・早退は原則として欠席扱いとする。	
本科目の位置づけ	積極的に話を聞く・話す態度が身に付く	
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)	毎回宿題を出すので、それを行った上で授業に臨むこと。	

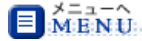


Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバスイ覧 > シラバス参照

[Login User](#)

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1309秒です。

印刷



シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学教育_英コミⅡ**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	火4																		
開講期間																					
必修選択	必	単位数	1.0																		
時間割コード	20110590003030	科目番号	05900030																		
授業科目名	●英語コミュニケーションⅡ(Ea)																				
編集担当教員	ローン 悦子																				
授業担当教員名(科目責任者)	ローン 悦子																				
授業担当教員名(オムニバス科目等)	ローン 悦子																				
科目分類	外国語科目、(教職免許科目他)、A科目 外国語 既習																				
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	演習科目																		
教室	[全]302																				
対象学生(クラス等)	Ea																				
担当教員Eメールアドレス	etsukolawn@hotmail.com																				
担当教員研究室	非常勤講師控室																				
担当教員TEL																					
担当教員オフィスアワー	授業の前後、またはメールにて質問を受け付けます。																				
授業のねらい	本授業では、実用的な英会話の表現を習得します。特にリスニングとスピーキングに力を入れながら基礎的な英語運用能力の向上を目指します。																				
授業方法(学習指導法)	授業では、基礎的なコミュニケーションに役に立つようなフレーズを指定されたテキストを使い学習していきます。また、新しい語彙、表現力を増やすためにauthenticな教材、洋画を使用し(DVD視聴)、Readers' theaterなどの活動を通してペアワーク、グループワークをより多く取り入れて授業を進めていきます。英語圏の文化、習慣の違いにも触れていきます。																				
授業到達目標	授業を通して、英語コミュニケーション活動に慣れ親しみ、基礎的なコミュニケーション能力を身につけることを目標とします。英語話者と話す機会がある場合に、状況に合った丁寧、あるいはカジュアルな表現を使い分け、躊躇することなく会話できるようになることを目指します。また洋画を英語で(音声、字幕共)より理解できるようにすることを目標とします。																				
授業内容	<p>授業では、コミュニケーションに役に立つような基礎的なフレーズを指定されたテキストを使い学習していきます(全12課からなっていますが、授業の進み具合で調節しながら進めていきます)。特に実用的なコミュニケーション能力を向上させるために、授業を通して、種々のリーディングスキル、リスニングストラテジーを学習しながら、受講生には回答の機会を出来る限り設け、ペアワーク、グループワークを通して学んだ表現の定着を図ります。テキスト中の基礎的な構文は、自然に口からついて出てくる程度にするために、付属のCDを使用し予習、復習をして授業に臨んで下さい(特にスピーキングとリスニング力アップのために、各自音読、リピーティング、オーバーラッピング、シャドーイング、ディクテーション等の練習に力を入れて下さい)。DVDの視聴、補助教材も適宜使用していきます。</p> <p>※授業の進み具合で、上記の進度、内容設定を変更する場合があります。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>第1回 10月4日 オリエンテーション 授業の進め方 Self-introduction</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>第2回 10月11日 Getting to know each other スキルの概要説明 DVD視聴(2回目以降も継続的に視聴予定)</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>第3回 10月18日 Invitation and Appointments Readers' theater の練習方法の説明</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>第4回 10月25日 Invitation and Appointments</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>第5回 11月1日 Review</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>第6回 11月8日 Comparative Cultures</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>第7回 11月15日 Comparative Cultures</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>第8回 11月22日 Review</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	第1回 10月4日 オリエンテーション 授業の進め方 Self-introduction	2	第2回 10月11日 Getting to know each other スキルの概要説明 DVD視聴(2回目以降も継続的に視聴予定)	3	第3回 10月18日 Invitation and Appointments Readers' theater の練習方法の説明	4	第4回 10月25日 Invitation and Appointments	5	第5回 11月1日 Review	6	第6回 11月8日 Comparative Cultures	7	第7回 11月15日 Comparative Cultures	8	第8回 11月22日 Review
回	内容																				
1	第1回 10月4日 オリエンテーション 授業の進め方 Self-introduction																				
2	第2回 10月11日 Getting to know each other スキルの概要説明 DVD視聴(2回目以降も継続的に視聴予定)																				
3	第3回 10月18日 Invitation and Appointments Readers' theater の練習方法の説明																				
4	第4回 10月25日 Invitation and Appointments																				
5	第5回 11月1日 Review																				
6	第6回 11月8日 Comparative Cultures																				
7	第7回 11月15日 Comparative Cultures																				
8	第8回 11月22日 Review																				

	9	第9回 11月29日 Telephone Conversation
	10	第10回 12月6日 Group work for the presentation
	11	第11回 12月13日 Presentation
	12	第12回 12月20日 Review
	13	第13回 1月10日 Permission and Suggestions
	14	第14回 1月17日 Intensions
	15	第15回 1月24日 Review
	16	第16回 1月31日 定期試験
キーワード	フレーズリーディング、シャドーイング、リピーティング、ディクテーション	
教科書・教材・参考書	教科書としてTadashi Shinozawa Gregory A. King 著 『New Activator』 金星堂 を使用します。第1回目の授業までに、必ず生協の販売コーナーで各自購入して下さい。	
成績評価の方法・基準等	定期試験(50%)、授業中の発表、小テスト、課題、プレゼンテーション(40%)、積極的な授業への参加(10%)を総合的に判断します。	
受講要件(履修条件)	教科書、英語辞典(電子辞書も可)を、毎回持参、また毎回授業に出席すること時間厳守。 学習した内容は、きちんと復習すること！。	
本科目の位置づけ	英語コミュニケーションの基礎能力を身につけるストラテジーを習得し、日本人学習者の苦手な音声言語コミュニケーション能力の向上を目指す。	
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)	各自テキスト付属のCDを使用し予習、復習をして授業に臨んで下さい。	





タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_英コミⅡ**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水1																						
開講期間																									
必修選択	必	単位数	1.0																						
時間割コード	20110590003021	科目番号	05900030																						
授業科目名	●英語コミュニケーションⅡ(Ld)																								
編集担当教員	中村 吏花																								
授業担当教員名(科目責任者)	中村 吏花																								
授業担当教員名(オムニバス科目等)	中村 吏花																								
科目分類	外国語科目、(教職免許科目他)、A科目 外国語 既習																								
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	演習科目																						
教室	[全]401																								
対象学生(クラス等)	Ld																								
担当教員Eメールアドレス	arthur410@hotmail.co.jp (件名に必ず授業名・履修番号・氏名を記入すること)																								
担当教員研究室	非常勤講師控室																								
担当教員TEL																									
担当教員オフィスパワー	水曜昼休み																								
授業のねらい	アメリカ人大学生Tomとのやり取りを通して、日常の基本的な会話表現を身に付ける。話し、聞くだけでなく、読み、書く訓練をする。高校までに学習してきた英語の基礎的な文法事項を再確認する。新出語句や表現を習得する。英語の音の特徴を知り、慣れる。英語の4技能を総合的に向上させる。速読・精読を意識して行う。																								
授業方法(学習指導法)	必ず予習・復習をして授業に出席すること。問題の解答だけでなく、英文解釈や英文音読なども毎回無作為に指名して発表してもらう。テキスト付属のCDを活用して英語の音の特徴を確認するとともに、ディクテーションや音読など英語を読み・聞く訓練をする。授業中にそれぞれの問題のポイントと、内容を理解する。重要文法事項を解説する。																								
授業到達目標	自分が必要とする情報を正しく適切に読み取る事ができる。基本的な文法・構文・表現方法を習得し、英語で正しく伝える事ができる。																								
授業内容	<p>ペア練習・グループ練習を繰り返し行う。語句・表現・文法の解説をする。英語の音の特徴・リズムを知り、英文の構造に慣れるため、CDを活用してディクテーションや音読など英語を聞き・読む訓練をする。英語の語順を意識して、長文を読む。授業には必ず予習をして臨み、辞書を持参してください。(電子辞書可。携帯電話は使用不可)。内容がよくつかめなときは、何がわからないのかを明らかにさせてきてください。文の構造がどうなっているのか、その文脈ではどういう意味でその単語が使われているのか、代名詞が何を指しているか、など細かく確認していくと、わからないところのはっきりすると思います。*教室に座っていれば出席というものではありません。予習をして授業に臨み(予習が十分にできていない場合は出席とはみなしません)、他の人の発表に耳を傾け、疑問があれば質問し、積極的に授業に取り組んで初めて出席とみなします。授業開始時刻から30分までは遅刻を認めず。それより遅い入室は欠席扱いとします。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>第1回 10月5日 Introduction</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>第2回 10月12日 Nice to Meet You</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>第3回 10月19日 Family</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>第4回 10月26日 Family</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>第5回 11月2日 Clubs and Jobs</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>第6回 11月9日 Hobbies</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>第7回 11月16日 Hobbies</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>第8回 11月30日 Travelling</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>第9回 12月7日 Food and Cooking</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>第10回 12月14日 Food and Cooking</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	第1回 10月5日 Introduction	2	第2回 10月12日 Nice to Meet You	3	第3回 10月19日 Family	4	第4回 10月26日 Family	5	第5回 11月2日 Clubs and Jobs	6	第6回 11月9日 Hobbies	7	第7回 11月16日 Hobbies	8	第8回 11月30日 Travelling	9	第9回 12月7日 Food and Cooking	10	第10回 12月14日 Food and Cooking
回	内容																								
1	第1回 10月5日 Introduction																								
2	第2回 10月12日 Nice to Meet You																								
3	第3回 10月19日 Family																								
4	第4回 10月26日 Family																								
5	第5回 11月2日 Clubs and Jobs																								
6	第6回 11月9日 Hobbies																								
7	第7回 11月16日 Hobbies																								
8	第8回 11月30日 Travelling																								
9	第9回 12月7日 Food and Cooking																								
10	第10回 12月14日 Food and Cooking																								

	11	第11回 12月21日 Review
	12	第12回 1月11日 Reading
	13	第13回 1月18日 What's New?
	14	第14回 1月25日 発表(1)
	15	第15回 2月1日 発表(2)
	16	第16回 2月8日 定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書	前川智子『英語コミュニケーション総合演習』(開文社出版、2007年)1890円 *必ずテキスト本体を入手して出席してください。テキストのない人には受講を認めません。	
成績評価の方法・基準等	定期試験50%、課題30%、発表20%	
受講要件(履修条件)	※3分の2以上の出席がないと定期試験を受験できません。(入院・出席停止の伝染病等を除き、病欠も欠席扱いとします)。正当な理由で欠席する場合は、その証明となる書類を提出してください(コピー可)。	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)		



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学教育_英コミⅡ**」
シラバスの詳細は以下となります。

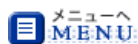


学期	後期	曜日・校時	水3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590003016	科目番号	05900030
授業科目名	●英語コミュニケーションⅡ (Ka)		
編集担当教員	マーク ティーダマン		
授業担当教員名(科目責任者)	マーク ティーダマン		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	マーク ティーダマン		
科目分類	外国語科目、(教職免許科目他)、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	演習科目
教室	[全]303		
対象学生(クラス等)	Ka		
担当教員Eメールアドレス			
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL	095-819-2078(全学教育事務室)		
担当教員オフィスマワー	授業の前後		
授業のねらい	By the end of the course, students will be expected to have a firmer command of basic grammatical structures, be more adept at understanding TOEIC Test-type reading materials, and be more comfortable listening to, responding to, and producing everyday spoken English.		
授業方法(学習指導法)	In class, we will focus on listening and speaking skills by going through the Breakthrough 3 course book using video and extensive pair-work exercises. Work on English grammar and structure with a text preparing students for the Reading Section of the TOEIC Test will be assigned as home work. Homework assignments will be regularly checked and four quizzes over the material will be given.		
授業到達目標	By the end of the course, students will be expected to have a firmer command of basic grammatical structures, be more adept at understanding TOEIC Test-type reading materials, and be more comfortable listening to, responding to, and producing everyday spoken English.		
授業内容	Essential Reading for the TOEIC Test, Kinseido Breakthrough 3, Macmillan		
	回	内容	
	1	第1回 Introduction to the class, Mixing activity	
	2	第2回 TOEIC Unit 1; Breakthrough Unit 1	
	3	第3回 TOEIC Unit 2; Breakthrough Unit 1	
	4	第4回 TOEIC Unit 3,4; Breakthrough Unit 2	
	5	第5回 TOEIC Unit 5, Quiz TOEIC Units 1-5; Breakthrough Unit 3	
	6	第6回 TOEIC Unit 6; Breakthrough Unit 4	
	7	第7回 TOEIC Unit 7,8; Breakthrough Unit 5	
	8	第8回 TOEIC Unit 9,10; Breakthrough Unit 6	
	9	第9回 TOEIC Unit 11, Quiz TOEIC Units 6-10; Breakthrough Unit 7	
	10	第10回 TOEIC Unit 12,13; Breakthrough Unit 8	
	11	第11回 TOEIC Unit 14,15; Breakthrough Unit 9	
	12	第12回 TOEIC Unit 16, Quiz TOEIC Units 11-15; Breakthrough Unit 10	
13	第13回 TOEIC Unit 17,18; Breakthrough Unit 11		

	14	第14回 TOEIC Unit 19,20; Breakthrough Unit 12
	15	第15回 TOEIC Quiz Units 16-20; Review of Breakthrough for the test
	16	第16回 Final Test
キーワード		
教科書・教材・参考書	Essential Reading for the TOEIC Test, Kinseido Breakthrough 3, Macmillan	
成績評価の方法・基準等	Homework 10%, TOEIC quizzes 30%, Final Test 60%	
受講要件(履修条件)		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)		



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

タイトル「2011年度シラバス」、開講所属「全学教育-全学_英コミⅡ」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水4																				
開講期間																							
必修選択	必	単位数	1.0																				
時間割コード	20110590003006	科目番号	05900030																				
授業科目名	●英語コミュニケーションⅡ(Tb)																						
編集担当教員	吉村 宗司																						
授業担当教員名(科目責任者)	吉村 宗司																						
授業担当教員名(オムニバス科目等)	吉村 宗司																						
科目分類	外国語科目、(教職免許科目他)、A科目 外国語 既習																						
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	演習科目																				
教室	[全]322																						
対象学生(クラス等)	Tb																						
担当教員Eメールアドレス	yoshimura@nagasaki-joshi.ac.jp																						
担当教員研究室	非常勤講師控室																						
担当教員TEL																							
担当教員オフィスパワー	授業の前後(16:00~16:10/125教室)																						
授業のねらい	授業のねらい:対話や会話といった、コミュニケーションを主要目的とする言葉のやりとりについては、なによりも相手を理解するための聴解力を基盤に持つことが必要である。発話力というのも聴解力あつての発話力であつて、聴解力さえ身につけば、発話力はそれに依つて自然にその進歩が期待できるものである。本講座では、これまで聞くことにあまり時間を割いてこなかった学校教育の弊害を可能な限り克服する意味で、サバイバル英語(米語)-必要最低限の英語(米語)-を徹底的に学びながら、聴解力と発話力の増強を図ることを第一義的な目的に据えるものである。																						
授業方法(学習指導法)	まずは、聴解力の増強に極めて効果的な英音・米音の音声的特徴や法則性(音法)について解説し、聴解力と発話力のバランスをとりながら、LL機器をフルに駆使して英語(米語)の運用能力を習得するトレーニングを行なっていく。尚、マテリアルとしては、日常会話表現や旅行英会話、洋楽、時事(ニュース)等、実用性の高いものを取り上げていく予定である。																						
授業到達目標	本講座の受講によって、これまで英米語のリスニングに際し、疑問であつたことが解消されるはずである。また、受講者のトレーニング次第では、外国人との英会話をはじめ、洋楽、映画、英語ニュースの視聴時に、上達の喜びを体感できるものと思われる。『英語が止まって聞こえる』ようになることを究極の目標に掲げる。																						
授業内容	<p>授業内容(概要)</p> <p>前半は、聴解力を増強させるうえで必須となる音声に関する知識の基礎固めを行なう。具体的には、基礎知識、及びリスニングに極めて有効な英音・米音の音声的特徴と法則性(音法)の習得である。中盤から後半は、リスニングとスピーキングのバランスをとりながら、発音矯正と並行して発話力の増強を目指す。限られた時間で実用英米語運用能力を促進させるトレーニングを行なっていくとともに、必要に応じて比較文化的視座から文化に関する実利的なトピックも織り交ぜつつ、言語と文化を包括して共時的に学ぶことを視野に入れた解説も展開する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>オリエンテーション(授業方針についての説明、教材の配付、アンケートほか)</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>『なぜ日本人は英語の聞き取りが苦手なのか?』—分析結果の報告と対策法について</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>プレテスト、つながる音とカタカナ英語、近似カナ表記、母音、半母音/j/, /w/, /r/, /l/と/l/の発音</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>子音、調音形式、調音点、有声音と無声音、閉鎖音についての解説</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>子音の分類表を基にした音素に関する基礎知識の確認、単語レベルの発音クリニック</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>『音の連結』を聞き取るパターン(リエゾンの原則)、/t/, /d/, /g/の脱落、/t/, /d/のラ音化</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>連結しない場合の/l/, /h/の脱落、半母音/j/, /n/+/r/と/n/+/d/による音変化</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>『閉鎖音の連続による脱落』、『同じ子音の連続による脱落』を聞き取るパターン</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>『同化』を聞き取るパターン(1)(半母音/j/に絡む音変化①)</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	オリエンテーション(授業方針についての説明、教材の配付、アンケートほか)	2	『なぜ日本人は英語の聞き取りが苦手なのか?』—分析結果の報告と対策法について	3	プレテスト、つながる音とカタカナ英語、近似カナ表記、母音、半母音/j/, /w/, /r/, /l/と/l/の発音	4	子音、調音形式、調音点、有声音と無声音、閉鎖音についての解説	5	子音の分類表を基にした音素に関する基礎知識の確認、単語レベルの発音クリニック	6	『音の連結』を聞き取るパターン(リエゾンの原則)、/t/, /d/, /g/の脱落、/t/, /d/のラ音化	7	連結しない場合の/l/, /h/の脱落、半母音/j/, /n/+/r/と/n/+/d/による音変化	8	『閉鎖音の連続による脱落』、『同じ子音の連続による脱落』を聞き取るパターン	9	『同化』を聞き取るパターン(1)(半母音/j/に絡む音変化①)
回	内容																						
1	オリエンテーション(授業方針についての説明、教材の配付、アンケートほか)																						
2	『なぜ日本人は英語の聞き取りが苦手なのか?』—分析結果の報告と対策法について																						
3	プレテスト、つながる音とカタカナ英語、近似カナ表記、母音、半母音/j/, /w/, /r/, /l/と/l/の発音																						
4	子音、調音形式、調音点、有声音と無声音、閉鎖音についての解説																						
5	子音の分類表を基にした音素に関する基礎知識の確認、単語レベルの発音クリニック																						
6	『音の連結』を聞き取るパターン(リエゾンの原則)、/t/, /d/, /g/の脱落、/t/, /d/のラ音化																						
7	連結しない場合の/l/, /h/の脱落、半母音/j/, /n/+/r/と/n/+/d/による音変化																						
8	『閉鎖音の連続による脱落』、『同じ子音の連続による脱落』を聞き取るパターン																						
9	『同化』を聞き取るパターン(1)(半母音/j/に絡む音変化①)																						

	10 『同化』を聞き取るパターン(2)(半母音/j/に絡む音変化②)、『調音点が近い子音の連続』
	11 『同化』を聞き取るパターン(3)(/h/の後続音への影響)、On an Airplane(1)
	12 On an Airplane(2)／VTR視聴／ニュースを聞き取る
	13 At an Airport(1)／洋楽を聞き取る
	14 At an Airport(2)／Taking a Taxi(1)／洋楽を聞き取る
	15 Taking a Taxi(2)／洋楽を聞き取る／まとめ ※毎回、詳細に解説を施す予定であるため、上記の進度設定を変更する場合もある。尚、基本的な音法を習得した後に旅行英会話等への応用を試みるが、解説やトレーニングに加え、比較文化的視座から実利的なトピックも交えつつ講義を進めていく。
	16 定期試験
キーワード	音法
教科書・教材・参考書	(1) 英語リスニング-聞き取るための入門講座(ハンドアウト教材) (2) American(ハンドアウト教材) (3) アメリカの生活と文化(VTR教材)
成績評価の方法・基準等	定期試験(80%)、授業への積極的参加意欲(受講態度やトレーニングの状況20%)等の総合判定によって評価を行なう。
受講要件(履修条件)	配布された教材に対する予習復習は必須である。特に、毎時学んだ内容に関し、毎日のトレーニングを継続させることによって、実用英米語運用能力の促進が可能となる。したがって、復習に力点を置いた学習姿勢が望まれる。
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	





シラバス参照

タイトル「2011年度シラバス」、開講所属「全学教育-全学_英コミⅡ」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水5																				
開講期間																							
必修選択	必	単位数	1.0																				
時間割コード	20110590003007	科目番号	05900030																				
授業科目名	●英語コミュニケーションⅡ(Th)																						
編集担当教員	吉村 宗司																						
授業担当教員名(科目責任者)	吉村 宗司																						
授業担当教員名(オムニバス科目等)	吉村 宗司																						
科目分類	外国語科目、(教職免許科目他)、A科目 外国語 既習																						
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	演習科目																				
教室	[全]322																						
対象学生(クラス等)	Th																						
担当教員Eメールアドレス	yoshimura@nagasaki-joshi.ac.jp																						
担当教員研究室	非常勤講師控室																						
担当教員TEL																							
担当教員オフィスアワー	授業の前後(16:00~16:10/125教室)																						
授業のねらい	授業のねらい: 対話や会話といった、コミュニケーションを主要目的とする言葉のやりとりについては、なによりも相手を理解するための聴解力を基盤に持つことが必要である。発話力というのも聴解力あつての発話力であつて、聴解力さえ身につけば、発話力はそれに依つて自然にその進歩が期待できるものである。本講座では、これまで聞くことにあまり時間を割いてこなかった学校教育の弊害を可能な限り克服する意味で、サバイバル英語(米語)-必要最低限の英語(米語)-を徹底的に学びながら、聴解力と発話力の増強を図ることを第一義的な目的に据えるものである。																						
授業方法(学習指導法)	まずは、聴解力の増強に極めて効果的な英音・米音の音声の特徴や法則性(音法)について解説し、聴解力と発話力のバランスをとりながら、LL機器をフルに駆使して英語(米語)の運用能力を習得するトレーニングを行なっていく。尚、マテリアルとしては、日常会話表現や旅行英会話、洋楽、時事(ニュース)等、実用性の高いものを取り上げていく予定である。																						
授業到達目標	本講座の受講によって、これまで英米語のリスニングに際し、疑問であつたことが解消されるはずである。また、受講者のトレーニング次第では、外国人との英会話をはじめ、洋楽、映画、英語ニュースの視聴時に、上達の喜びを体感できるものと思われる。『英語が止まって聞こえる』ようになることを究極の目標に掲げる。																						
授業内容	<p>授業内容(概要)</p> <p>前半は、聴解力を増強させるうえで必須となる音声に関する知識の基礎固めを行なう。具体的には、基礎知識、及びリスニングに極めて有効な英音・米音の音声の特徴と法則性(音法)の習得である。中盤から後半は、リスニングとスピーキングのバランスをとりながら、発音矯正と並行して発話力の増強を目指す。限られた時間で実用英米語運用能力を促進させるトレーニングを行なっていくとともに、必要に応じて比較文化的視座から文化に関する実利的なトピックも織り交ぜつつ、言語と文化を包括して共時的に学ぶことを視野に入れた解説も展開する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>オリエンテーション(授業方針についての説明、教材の配付、アンケートほか)</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>『なぜ日本人は英語の聞き取りが苦手なのか?』—分析結果の報告と対策法について</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>プレテスト、つながる音とカタカナ英語、近似カナ表記、母音、半母音/j/, /w/, /r/, /l/と/l/の発音</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>子音、調音形式、調音点、有声音と無声音、閉鎖音についての解説</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>子音の分類表を基にした音素に関する基礎知識の確認、単語レベルの発音クリニック</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>『音の連結』を聞き取るパターン(リエゾンの原則)、/t/, /d/, /g/の脱落、/t/, /d/のラ音化</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>連結しない場合の/l/, /h/の脱落、半母音/j/, /n/+/l/と/n/+/d/による音変化</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>『閉鎖音の連続による脱落』、『同じ子音の連続による脱落』を聞き取るパターン</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>『同化』を聞き取るパターン(1)(半母音/j/に絡む音変化①)</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	オリエンテーション(授業方針についての説明、教材の配付、アンケートほか)	2	『なぜ日本人は英語の聞き取りが苦手なのか?』—分析結果の報告と対策法について	3	プレテスト、つながる音とカタカナ英語、近似カナ表記、母音、半母音/j/, /w/, /r/, /l/と/l/の発音	4	子音、調音形式、調音点、有声音と無声音、閉鎖音についての解説	5	子音の分類表を基にした音素に関する基礎知識の確認、単語レベルの発音クリニック	6	『音の連結』を聞き取るパターン(リエゾンの原則)、/t/, /d/, /g/の脱落、/t/, /d/のラ音化	7	連結しない場合の/l/, /h/の脱落、半母音/j/, /n/+/l/と/n/+/d/による音変化	8	『閉鎖音の連続による脱落』、『同じ子音の連続による脱落』を聞き取るパターン	9	『同化』を聞き取るパターン(1)(半母音/j/に絡む音変化①)
回	内容																						
1	オリエンテーション(授業方針についての説明、教材の配付、アンケートほか)																						
2	『なぜ日本人は英語の聞き取りが苦手なのか?』—分析結果の報告と対策法について																						
3	プレテスト、つながる音とカタカナ英語、近似カナ表記、母音、半母音/j/, /w/, /r/, /l/と/l/の発音																						
4	子音、調音形式、調音点、有声音と無声音、閉鎖音についての解説																						
5	子音の分類表を基にした音素に関する基礎知識の確認、単語レベルの発音クリニック																						
6	『音の連結』を聞き取るパターン(リエゾンの原則)、/t/, /d/, /g/の脱落、/t/, /d/のラ音化																						
7	連結しない場合の/l/, /h/の脱落、半母音/j/, /n/+/l/と/n/+/d/による音変化																						
8	『閉鎖音の連続による脱落』、『同じ子音の連続による脱落』を聞き取るパターン																						
9	『同化』を聞き取るパターン(1)(半母音/j/に絡む音変化①)																						

	10 『同化』を聞き取るパターン(2)(半母音/j/に絡む音変化②)、『調音点が近い子音の連続』
	11 『同化』を聞き取るパターン(3)(/h/の後続音への影響)、On an Airplane(1)
	12 On an Airplane(2)／VTR視聴／ニュースを聞き取る
	13 At an Airport(1)／洋楽を聞き取る
	14 At an Airport(2)／Taking a Taxi(1)／洋楽を聞き取る
	Taking a Taxi(2)／洋楽を聞き取る／まとめ
	15 ※毎回、詳細に解説を施す予定であるため、上記の進度設定を変更する場合もある。尚、基本的な音法を習得した後に旅行英会話等への応用を試みるが、解説やトレーニングに加え、比較文化的視座から実利的なトピックも交えつつ講義を進めていく。
	16 定期試験
キーワード	音法
教科書・教材・参考書	(1) 英語リスニング-聞き取るための入門講座(ハンドアウト教材) (2) American(ハンドアウト教材) (3) アメリカの生活と文化(VTR教材)
成績評価の方法・基準等	定期試験(80%)、授業への積極的参加意欲(受講態度やトレーニングの状況20%)等の総合判定によって評価を行なう。
受講要件(履修条件)	配布された教材に対する予習復習は必須である。特に、毎時学んだ内容に関し、毎日のトレーニングを継続させることによって、実用英米語運用能力の促進が可能となる。したがって、復習に力点を置いた学習姿勢が望まれる。
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	





シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_英コミⅡ**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	木1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590003025	科目番号	05900030
授業科目名	●英語コミュニケーションⅡ(M11)		
編集担当教員	松村 ラッタナー		
授業担当教員名(科目責任者)	松村 ラッタナー		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	松村 ラッタナー		
科目分類	外国語科目、(教職免許科目他)、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	演習科目
教室	[全]204		
対象学生(クラス等)	M11		
担当教員Eメールアドレス	mratana46@yahoo.com		
担当教員研究室			
担当教員TEL	095 - 882-6656		
担当教員オフィスアワー	By appointment		
授業のねらい	The focus of this class is on developing students' fluency in English communication. Students will learn to exchange their stories, express their opinions using various communication skills. They will learn to use the English they know to carry on guided and open-ended discussions on topics based on themes of interest to the students themselves.		
授業方法(学習指導法)	This is an interactive speaking class. Communication techniques and strategies will be introduced and practiced in pairs and small groups. They will be reviewed by means of discussing topics selected by students. Various activities including guessing games, picture stories, problem solving will be incorporated to encourage students to talk freely. Students are required to select one reader as their reading material to fulfill the self-study exercise.		
授業到達目標	By the end of the course, students would be able to express one's own ideas more effectively and support their ideas with improved reasoning skills.		
授業内容	Story telling techniques, communication strategies, and language functions relating to developing communicative abilities will be introduced. Introductory material (texts, comics, audiovisual aids etc.) is presented to stimulate ideas and discussions.		
	回	内容	
	1	10月6日 Introduction and choosing topics	
	2	10月13日 Story telling techniques	
	3	10月20日 Basic communication skills: expressing opinions	
	4	10月27日 Basic communication skills: agreeing and disagreeing	
	5	11月10日 Topic 1 and brainstorming	
	6	11月17日 Discussion and practice	
	7	11月24日 Prioritizing and reasoning	
	8	12月1日 Topic 2 and problem solving	
	9	12月8日 Discussion and practice	
	10	12月15日 Topic 3	
	11	12月22日 Discussion and practice	
	12	1月12日 Viewing video	
13	1月19日 Topic 4		

	14	1月26日 Discussion and practice
	15	2月2日 Student presentation
	16	第16回 2月9日 定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書	Materials will be distributed in class.	
成績評価の方法・基準等	Participation 10% Homework and self-study 30% Student presentation 30% Final exam 30%	
受講要件(履修条件)		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)		

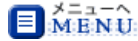


Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバスイ覧 > シラバス参照

[Login User](#)

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1800秒です。

印刷



シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_英コミII**」
シラバスの詳細は以下となります。

戻る

学期	後期	曜日・校時	木3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590003003	科目番号	05900030
授業科目名	●英語コミュニケーションII (M13)		
編集担当教員	村岡 三奈子		
授業担当教員名(科目責任者)	村岡 三奈子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	村岡 三奈子		
科目分類	外国語科目、(教職免許科目他)、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	演習科目
教室	[全]303		
対象学生(クラス等)	M13		
担当教員Eメールアドレス	muraoka@n-junshin.ac.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL	095-846-0084		
担当教員オフィスパワー	長崎純心大学村岡研究室にて随時		
授業のねらい	現代社会が抱える様々な問題をトピックに、(1) 多角的な視点から論理的に思考し、(2) 自分の意見を表現する技能を段階的に養い、(3) 最終的に英語でディベートできるようになることを目標とする。		
授業方法(学習指導法)	原則として、毎週、テキストを1章ずつ学習する。基本的 vocabulary の習得、reading およびその summary、さらに categorizing の順番で進める。予習を前提とし、毎回、授業のはじめに確認の小テストを行う。		
授業到達目標	ある問題の肯定論・否定論を客観的に分析しながら、英語で意見を組み立て、伝達できるようになる。授業の最終回に「ミニ・ディベート大会」でその成果を発表する。		
授業内容	第1回 インTRODクシヨン: Definition and significance of debate 第2回 Chapter 1: Format and procedures 第3回 Chapter 2: Suggestions for classroom debate 第4回 Chapter 3: Should college English education introduce debate in the curriculum? 第5回 Chapter 4: Should the school dress code be left up to individual students? 第6回 Chapter 5: Should Japan increase female leaders? 第7回 Chapter 6: Should Japan adopt daylight saving time? 第8回 Chapter 7: Should the civil code be revised to allow different surnames? 第9回 Chapter 8: Should Japan seek permanent status on the U.N. Security Council? 第10回 Chapter 9: Should the Japan-U.S. Security Treaty be abolished? 第11回 Chapter 10: Should primary schools introduce English into their curriculum? 第12回 プレゼンテーション準備 (1) Draft # 1 第13回 プレゼンテーション準備 (2) Draft # 2 第14回 プレゼンテーション 第15回 授業の総括 第16回 定期試験		
	回	内容	
	1	10月6日 インTRODクシヨン	
	2	10月13日 Chapter 1	
	3	10月20日 Chapter 2	
	4	10月27日 Chapter 3	
	5	11月10日 Chapter 4	
	6	11月17日 Chapter 5	
	7	11月24日 Chapter 6	
8	12月1日 Chapter 7		

	9	12月8日 Chapter 8
	10	12月15日 Chapter 9
	11	12月22日 Chapter 10
	12	1月12日 Chapter 11
	13	1月19日 プレゼンテーション準備 (1)
	14	1月26日 プレゼンテーション準備 (2)
	15	2月2日 プレゼンテーション
	16	定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書	教科書:Enjoy Debating (EICHOSHA)	
成績評価の方法・基準等	授業への積極的参加状況:10% 小テスト:20% プレゼンテーション:30% 筆記試験:40%	
受講要件(履修条件)		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)		



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

LiveCampus

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_英コミⅡ**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	木4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590003008	科目番号	05900030
授業科目名	●英語コミュニケーションⅡ(Kc)		
編集担当教員	大里 泰弘		
授業担当教員名(科目責任者)	大里 泰弘		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	大里 泰弘		
科目分類	外国語科目、(教職免許科目他)、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	演習科目
教室	[全]203		
対象学生(クラス等)	Kc		
担当教員Eメールアドレス	yoosato5@gmail.com		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	授業時に要確認		
授業のねらい	英語基礎コミュニケーション能力の定着・養成・TOEIC基礎学力の定着		
授業方法(学習指導法)	Communicative Grammar中心。各ユニットで実際に使える重要表現を取り上げ、演習後、場面別Model Conversationをもとに、様々なペアワークを通してスキルを身につけるようにする。		
授業到達目標	英語基礎コミュニケーション能力習得およびそれに必要とされる文法能力の定着		
授業内容	ユニットごとにテーマを取り上げての総合演習。・TOEIC様式の問題での学習(プリント)。		
	回	内容	
	1	第 1回 Introduction U1 It's nice to meet you.	
	2	第 2回 U2 What does FIY mean?	
	3	第 3回 U3 May I speak to Mr. Yoshioka?	
	4	第 4回 U4 may I take a message?	
	5	第 5回 U5 I have a headache., Review1	
	6	第 6回 U6 I have another appointment at 9:30.	
	7	第 7回 U7 would you like something to drink?	
	8	第 8回 U8 Let's go out for a drink.	
	9	第 9回 U9 How was your weekend?	
	10	第10回 U10 The sales department is on the 3rd floor., Review2	
	11	第11回 U11 Turn right on main Street.	
	12	第12回 U12 First, press the start button.	
	13	第13回 U13 I'd like to check in.	
	14	第14回 U14 I'm looking for a souvenir.	
	15	第15回 U15 What would you like to have?	
16	第16回 定期試験		
キーワード	Communicative Grammar Comprehensive Approach		

教科書・教材・参考書	First Steps to Office English Cengage Learning
成績評価の方法・基準等	定期試験はReview3としてReview1-3 75%、授業参加度(QUIZ・課題提出等)25%で評価する。
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_英コミⅡ**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	金2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590003035	科目番号	05900030
授業科目名	●英語コミュニケーションⅡ(D16・17)		
編集担当教員	RUHL DAWN MICHELE		
授業担当教員名(科目責任者)	RUHL DAWN MICHELE		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	RUHL DAWN MICHELE		
科目分類	外国語科目、(教職免許科目他)、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	演習科目
教室	[全]323		
対象学生(クラス等)	D16-17		
担当教員Eメールアドレス	michele@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	大学教育機能開発センター2F		
担当教員TEL	+ 81(0)95 - 819 - 2082		
担当教員オフィスアワー	月 - 金 12:00-12:45; 月・木 14:30 - 17:00		
授業のねらい	この授業では、英語の流暢さを向上させることを目的としています。Free Writing、Free Readingやアクティブ・リスニング、広範囲のリーディングをとり入れて何週間も続けていきます。生徒は、マインドマップの作り方とSWIHや例を含めたPersonal Storiesの作り方を学びます。広範囲のリーディングを通して、生徒は多方面にわたるテーマに詳しくなり、またPersonal Storiesや引用文の中でこれらのテーマがわかるようになります。理論的な文章を書くことは、トピックやPersonal Storiesや広範囲のリーディング、またFree Writing、Free Speakingなど主な学習範囲で使用した例と関連づけて実践していきます。		
授業方法(学習指導法)	毎週行うFree Writingやリーディング、クラスログ、マップ、クラスでの活動は用意された授業用ノートに保存をしていきます。アクティブ・リスニングを用いて、トピックやStoriesを個別またはパートナーと録音します。2つのアクティブ・リスニングの文章を書き、それが採点されます。複数あるスピーキングの例からスピーキング・ポートフォリオをつくります。また、これは生徒同士で採点します。録音したものはすべてUSBに保存してください。学術的な文章を書く課題(2回)は、宿題となります。生徒の質問に答えたり、教員から例を挙げてもらったりする時間は十分にあります。授業は真面目に取り組み、毎週宿題をかかさずに行ってください。		
授業到達目標	事前に行った文章を読むのではなく、経験や詳細、例を挙げながら自分のことを話せるようになること。 アクティブ・リスニング(相槌)の重要性を実感し、書かれた文章をアクティブ・リスニングで表現できる。 理論的で複雑な文章を2つ書き上げる。 英語を流暢に読み・書き・話す能力と速読力を向上させること。		
授業内容	第1回 Purchase books; Class Outline, timetable and weekly Basic Homework (B.H.W.) 第2回 Interview Topics and Mind Mapping; Reading Benchmark. 第3回 Active Listening intro - Homepage; Topic Interviews (Answer 8 questions). 第4回 Record topics solo using maps & with a partner Active Listening(AL)&TPO 第5回 1st Speaking Fluency Check 第6回 Introduce Einstein Quotes and Paragraph writing; choose a quote. 第7回 Einstein Quote Solo; Introduce Homepage Stories & Speaking Portfolio options. 第8回 Midterm Check- Basic Homework&Narrative Essay 1. 第9回 Portfolio Choices and Practice Schedule must be finished in class today.		

	第10回 Midterm Speaking Fluency Check. 第11回 X-Factors with personal stories. 第12回 X-Factors with Speaking & AL 第13回 Record and check Personal Story Script with X-Factors. 第14回 Final Speaking Fluency Check. 第15回 Random Partner Portfolio Evaluations & Portfolio Self Evaluations. 第16回 Final Class Check- Basic Homework & Narrative Essay 2.
キーワード	extensive Flow mind map narrative portfolio timed
教科書・教材・参考書	5 Books for Extensive Reading@ ¥3800 *マイク付ヘッドフォン、4GBのUSBフラッシュメモリー@ ¥2800 *カラーペンx5と蛍光ペンx2 Chairside Communication Textbook
成績評価の方法・基準等	Basic Homework 25% Speaking Portfolio 25% Active Listening 25% Paragraph Writing 25%
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	





シラバス参照

LiveCampus

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_英コミⅡ**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	金3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590003012	科目番号	05900030
授業科目名	●英語コミュニケーションⅡ (Ta)		
編集担当教員	ルウイエル		
授業担当教員名(科目責任者)	ルウイエル		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	ルウイエル		
科目分類	外国語科目、(教職免許科目他)、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	演習科目
教室	[全]124		
対象学生(クラス等)	Ta		
担当教員Eメールアドレス	dannyl@excite.com		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスマワー	授業の前後		
授業のねらい	The goal of this course is to give students extensive practice in everyday conversational English with emphasis on informal styles and pronunciation.		
授業方法(学習指導法)	During class students will spend as much time as possible speaking in English. Students will work in pairs and in groups using English in a variety of situations. Active participation is central to the success of the class.		
授業到達目標	Ideally, after completion of the course students will be better prepared to converse in the international community at a basic level.		
授業内容	The text will be used in every class providing work in listening, speaking, reading and writing.		
	回	内容	
	1	1: Introductions - Interviews - Class Outline - Homework Explanation	
	2	2: Introduce Partner - Welcome Game	
	3	3: Countries - Casual language - Meeting People	
	4	4: Likes - Jobs - Hometowns - More Casual language - Reductions.	
	5	5: My City - Directions Part 1	
	6	6: My Neighborhood - Directions Part 2 - Weather	
	7	7: Music - Adventures - Time	
	8	8: Mid Semester Review Activities	
	9	9: Movies - Famous People - Entertainment	
	10	10: Free time - Sports - Going out	
	11	11: Eating out - Restaurants	
	12	12: Shopping - Fashion	
	13	13: Personality - Describing People - Dating	
	14	14: Holidays - Dates - Festivals	
	15	15: Travel - Vacations - The Future - Exam Information	

	16 16: Final Exam
キーワード	
教科書・教材・参考書	Adventures in English 1, Adventures in English 1 Workbook
成績評価の方法・基準等	Grading will be based on attendance/participation (working with a partner, bringing your book to class) (30%), workbook (30%) and a final test (40%).
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	Workbook to be done at home - not in class.



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

LiveCampus

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_英コミⅡ**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	金3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590003031	科目番号	05900030
授業科目名	●英語コミュニケーションⅡ(Tj)		
編集担当教員	ペー シュウキー		
授業担当教員名(科目責任者)	ペー シュウキー		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	ペー シュウキー		
科目分類	外国語科目、(教職免許科目他)、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	演習科目
教室	[全]401		
対象学生(クラス等)	Tj		
担当教員Eメールアドレス	s-beh@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL			
担当教員オフィシアワー	授業の前後		
授業のねらい	This course is designed to develop students' basic communication skill. Each class provides students with the opportunity to learn words, phrases and dialogues that are related to the topics.		
授業方法(学習指導法)	Each class deals with an everyday topic. The activities are designed to help students telling their own ideas and experiences. Students will have the opportunity to interact and communicate with each other by completing tasks given in the class.		
授業到達目標	By the end of the course, students should be able to use English for expressing their own ideas and feelings.		
授業内容	回	内容	
	1	ORIENTATION & GETTING TO KNOW EACH OTHER	
	2	第2回 THIS IS ME (1)	
	3	第3回 THIS IS ME (2)	
	4	第4回 LEISURE ACTIVITIES (1)	
	5	第5回 LEISURE ACTIVITIES (2)	
	6	第6回 GOING PLACES (1)	
	7	第7回 GOING PLACES (2)	
	8	第8回 MIDTERM EXAMINATION	
	9	第9回 MONEY	
	10	第10回 HEALTH (1)	
	11	第11回 HEALTH (2)	
	12	第12回 WORK (1)	
	13	第13回 WORK (2)	
	14	第14回 WORK (3)	
	15	第15回 END-OF-TERM EXAMINATION	
16	第16回 TOTAL REVIEW		
キーワード			

教科書・教材・参考書	授業中に配布するプリントを元にタスクをするめる 参考書は授業中に適宜紹介する
成績評価の方法・基準等	PARTICIPATION & PRESENTATION 20% MINI-LISTENING TEST 20% MIDTERM EXAMINATION 20% END-OF-TERM EXAMINATION 40%
受講要件(履修条件)	1.A4サイズのノート 2.英英辞典を準備すること(携帯電話不可)
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	1.毎週課題を出すので家で完成させること 2.ほぼ毎週mini-listeningテストを実施するので準備しておくこと 3.詳細については授業の初回に説明します



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_英コミⅡ**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	金4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590003013	科目番号	05900030
授業科目名	●英語コミュニケーションⅡ(Tc)		
編集担当教員	ルウイエル		
授業担当教員名(科目責任者)	ルウイエル		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	ルウイエル		
科目分類	外国語科目、(教職免許科目他)、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	演習科目
教室	[全]104		
対象学生(クラス等)	Tc		
担当教員Eメールアドレス	dannyl@excite.com		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスマワー	授業の前後		
授業のねらい	The goal of this course is to give students extensive practice in everyday conversational English with emphasis on informal styles and pronunciation.		
授業方法(学習指導法)	During class students will spend as much time as possible speaking in English. Students will work in pairs and in groups using English in a variety of situations. Active participation is central to the success of the class.		
授業到達目標	Ideally, after completion of the course students will be better prepared to converse in the international community at a basic level.		
授業内容	The text will be used in every class providing work in listening, speaking, reading and writing.		
	回	内容	
	1	1: Introductions - Interviews - Class Outline - Homework Explanation	
	2	2: Introduce Partner - Welcome Game	
	3	3: Countries - Casual language - Meeting People	
	4	4: Likes - Jobs - Hometowns - More Casual language - Reductions.	
	5	5: My City - Directions Part 1	
	6	6: My Neighborhood - Directions Part 2 - Weather	
	7	7: Music - Adventures - Time	
	8	8: Mid Semester Review Activities	
	9	9: Movies - Famous People - Entertainment	
	10	10: Free time - Sports - Going out	
	11	11: Eating out - Restaurants	
	12	12: Shopping - Fashion	
	13	13: Personality - Describing People - Dating	
	14	14: Holidays - Dates - Festivals	
	15	15: Travel - Vacations - The Future - Exam Information	
16	16: Final Exam		

キーワード	
教科書・教材・参考書	Adventures in English 1, Adventures in English 1 Workbook
成績評価の方法・基準等	Grading will be based on attendance/participation (working with a partner, bringing your book to class) (30%), workbook (30%) and a final test (40%).
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	Workbook to be done at home - not in class.

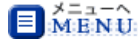


Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバスイ覧 > シラバス参照

[Login User](#)

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1800秒です。

印刷



シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_英コミⅡ**」

シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	金4						
開講期間									
必修選択	必	単位数	1.0						
時間割コード	20110590003039	科目番号	05900030						
授業科目名	●英語コミュニケーションⅡ(M14)								
編集担当教員	小笠原 真司								
授業担当教員名(科目責任者)	小笠原 真司								
授業担当教員名(オムニバス科目等)	小笠原 真司								
科目分類	外国語科目、(教職免許科目他)、A科目 外国語 既習								
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	演習科目						
教室	[全]322								
対象学生(クラス等)	M14								
担当教員Eメールアドレス	ogasa-s@nagasaki-u.ac.jp								
担当教員研究室	環境科学部1階								
担当教員TEL	095-819-2094								
担当教員オフィスマワー	木3 金3 金5								
授業のねらい	英語でのコミュニケーション活動がスムーズにできるように、基礎的な英語の発音やリズム練習を行います。さらに、リスニングストラテジーに基づいたトレーニングを行い、リスニングの力をつけるとともに、リピーティングを用いた構文練習を行い、自信を持って英語を発信できるようにします。								
授業方法(学習指導法)	演習形式で行います。指定されたテキストは、決められた範囲を予習しておくことが必要です。家庭でテキスト付属のCDを利用して、十分練習していただくことを要求します。また、2回程度、プレゼンテーション用の英文の原稿を書いてもらい、ペアやグループでの英語によるスピーチ練習をします。								
授業到達目標	テキストの中の重要な英語の構文は、授業中指定されたものはすべて覚えて頭の中に内在化、自然と発話できるレベルまでにします。英会話レベルを超えて、少し長いレベルの英語も発話できるようにします。また、基本的なリスニングストラテジーを身につけてもらい、簡単な英語ニュースや映画なら、内容の概要を聞き取れるようにします。また、簡単なプレゼンテーションを、自信もって英語でスピーチできるようにします。								
	<p>毎回、授業の最初には、テキストを用いて、話すための大切な英語構文を整理しながらCDを聞いて用いて、英語を繰り返す練習を行います。これは、リピーティング練習といい、英語の構文を内在化する(身につける)には効果的な練習方法です。この練習を20分程度行い、その後、リスニングストラテジーに基づき、リスニング用のプリント教材や英語の歌を用いて、リスニングのトレーニングを行います。さらに、応用練習として、ペアやグループになってもらい、課題として作成したプレゼンテーション用の原稿を用いてのスピーチ練習を行います。もちろん、この原稿を書くための指導も行います。</p> <p>この授業に関しては、決して受身的な態度で授業に参加しないでください。授業の効果を上げるためにも、学生は極力欠席を避け、積極的に授業に参加してください。毎回、課題がでますので、なによりも家庭学習をきちんとすることが大切です。学生の積極的な取り組みを期待します。真剣に授業に参加し、家庭学習もきちんとすれば、必ず英語の力は向上します。がんばってください。</p> <p>16回 定期試験 (2012年2月10日)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>オリエンテーション リピーティング練習の体験 リスニングテスト 映画教材1</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>テキスト 機能編: 質問する、依頼する、確認する等 基礎リスニングトレーニング1 映画教材2</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	オリエンテーション リピーティング練習の体験 リスニングテスト 映画教材1	2	テキスト 機能編: 質問する、依頼する、確認する等 基礎リスニングトレーニング1 映画教材2
回	内容								
1	オリエンテーション リピーティング練習の体験 リスニングテスト 映画教材1								
2	テキスト 機能編: 質問する、依頼する、確認する等 基礎リスニングトレーニング1 映画教材2								

授業内容	3	テキスト 機能編:あやまる、感謝を表す、賛成する等 基礎リスニングトレーニング2 映画教材3
	4	テキスト 場面編:基本情報を語る 基礎リスニングトレーニング3 映画教材4
	5	テキスト 場面編:趣味・クラブ・バイトを語る 映画教材5
	6	テキスト 場面編:勉強・夢を語る スピーチ練習課題A 映画教材6
	7	テキスト 場面編:勉強・夢を語る スピーチ練習課題A 映画教材7
	8	テキスト 場面編:友人のことを聞く スピーチ練習課題A 映画教材8
	9	テキスト 場面編:授業情報を聞く 映画教材9
	10	テキスト 構文編:基本的な疑問文のパターン練習 ESP関係の語彙修得練習 映画教材10
	11	テキスト 構文編:基本的な疑問文のパターン練習 ESP関係の語彙修得練習 映画教材11
	12	テキスト 構文編:基本的な疑問文のパターン練習 ESP関係の語彙修得練習 スピーチ練習課題B 映画教材12
	13	テキスト 構文編:助動詞を用いた表現練習 ESP関係の語彙修得練習 スピーチ練習課題B 映画教材13
	14	テキスト 構文編:助動詞を用いた表現練習 ESP関係の語彙修得練習 スピーチ練習課題B 映画教材14
	15	ESP関係の語彙修得練習 リスニング(ポストテスト)
	16	定期試験 2012年2月10日
	キーワード	Repeating, Pair Work, Listening Strategies
	教科書・教材・参考書	教科書(テキスト):JACET英語リスニングテスト600円(第1回目の授業時に徴収します) English Communication for Self-Expression -Life,Culture and Medicine- (EIKO-SHA) (CD付) 1,800円(第1回目の授業時に教室にて販売します) 教材 :プリント教材 毎回配布します。
成績評価の方法・基準等	成績評価は、 ○定期試験50%、毎回の小テスト10%、授業中の発表10%、プレゼンペーパー10% リスニングテスト(ポストテスト)20%で行います。	
受講要件(履修条件)	全回出席が原則。教科書も必ず購入すること。	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)		

